

第二條 金庫ニ於テ收納セル朝鮮森林特別會計ノ收益勘定歳入金ハ之ヲ其ノ仕拂元金ニ組換ヲ爲スヘシ

第三條 朝鮮森林特別會計規則第四條第一項ニ依リ繰替及之カ繰戻ヲ要スル場合同會計ノ仕拂命令官ヨリ關係金庫ニ其ノ旨請求アリタルトキハ金庫ハ右請求ニ依リ直ニ國庫移換ノ手續ヲ以テ朝鮮森林特別會計收益勘定ノ歳出仕拂元金ト振替受拂ヲ爲スヘシ但レ資本勘定歳入額ヨリ歳出額(受領額)ヲ差引タル殘額カ繰替請求額ニ足ラサル場合又ハ全ク殘額ナキ場合ハ繰替ノ請求ニ應スルヲ得ス

第四條 金庫ニ於ケル諸帳簿及諸計算報告書表等ハ朝鮮森林資本勘定、朝鮮森林收益勘定ノ文字ヲ冠シテ各別ニ區分調製シ又現金出納原簿等ハ左ノ科目ヲ設ケ整理スヘシ

- 一 某年度朝鮮森林資本勘定歳入
  - 二 某年度朝鮮森林資本勘定歳出
  - 三 某年度朝鮮森林資本勘定歳出仕拂未濟翌年度へ繰越金
  - 四 某年度朝鮮森林資本勘定現金收益勘定へ繰替
  - 五 某年度朝鮮森林收益勘定歳入
  - 六 某年度朝鮮森林收益勘定歳出仕拂元金
- 第五條 前條ノ朝鮮森林資本勘定歳入歳出ニ係ル補助簿及計算表ノ様式ハ金庫出納事務規程中歳入歳出ノ例ヲ準用ス

明治四十年三月三日 大藏省訓令第十六號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

〔参照〕

明治四十年三月三日 大藏省訓令第十六號ハ朝鮮森林特別會計金庫出納事務規程ナリ

○大藏省訓令第二十一號

大藏省所管官有財産取扱規程別冊ノ通改正ス  
大臣官房 繕課 造幣局 專賣局 稅關  
稅務監督局 鑛造試驗所 大藏省臨時建築部  
明治四十四年四月八日 大藏大臣 侯爵桂太郎

(別冊)

大藏省所管官有財産取扱規程

- 第一條 大藏省所管ノ官有財産ハ左ノ區別ニ從ヒ此ノ規程ニ依リ處理スヘシ但シ特別ノ規程ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ定ム
- 一 土地及其ノ附屬物
  - 二 營造物及其ノ附屬物
  - 三 家屋及其ノ附屬物
  - 四 船舶及其ノ附屬物
- 第二條 大臣官房營繕課長ハ左ノ事項ヲ處理スヘシ
- 一 官有財産ノ管理及監督ニ關スルコト
  - 二 官有財産ノ處分ニ關スルコト
  - 三 官有地ノ地種組換、公有水面ノ埋立、使用及官民有地ノ交換ニ關シ請求ノ手續ヲ爲スコト
  - 四 土地收用ニ關スル手續ヲ爲スコト
  - 五 官用地ノ使用許可ニ關スルコト
  - 六 地役權ノ設定ニ關スルコト
  - 七 官有財産原簿及圖面ノ整理ニ關スルコト

- 八 官有財產管理規則第十六條及第十七條ニ依リ官有財產現在目錄及其ノ増減異動報告書ヲ開製シ帝國議會ニ提出ノ爲内閣ヘ送付ノ手續ヲ爲スコト
- 九 官有財產ニ關スル年報材料ノ調製ニ關スルコト
- 十 其ノ他官有財產ニ關スル諸般ノ事項
- 第三條 大臣官房營繕課長ハ前條ニ掲ケタル事項ノ外此ノ規程ニ依リ本省直轄ノ官有財產ヲ處理スヘシ
- 第四條 此ノ規程ニ於テ部局ト稱スルハ造幣局、專賣局、稅關、稅務監督局、釀造試驗所及大藏省臨時建築部ヲ謂フ
- 第五條 部局所屬ノ官有財產ハ部局長之カ保管及取締ヲ爲スヘシ
- 第六條 部局長ハ時々所屬官有財產ノ現況ヲ視察シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ
  - 一 官有財產ノ使用ハ適當ナリヤ否ヤ
  - 二 官有財產ノ維持保存上ニ不完全ノ點ナキヤ否ヤ
  - 三 官有財產ニ損害ヲ生スヘキ虞ナキヤ否ヤ
  - 四 用地ノ疆界ニ不判明ノ點ナキヤ否ヤ
  - 五 用地ノ疆界ヲ侵害セラルル等ノコトナキヤ否ヤ
  - 六 官有財產ハ官有財產簿及圖面ト符合スルヤ否ヤ
  - 七 其ノ他官有財產ノ保管又ハ取締上必要ノ事項
- 第七條 部局長ハ第一號乃至第四號様式ニ依リ官有財產簿ヲ備ヘ第五號表ニ掲ケタル種類名稱ニ依リ部局所屬ノ官有財產ヲ整理スヘシ
- 第八條 官有財產簿ニハ左ノ事項ヲ登記スヘシ
  - 一 所在地名及地番

- 二 名稱、種類
  - 三 數量、價格
  - 四 修繕期限及保存期限
  - 五 得喪又ハ變更ノ年月日及其ノ事由
  - 六 其ノ他必要ノ事項
- 第九條 前條ノ登記ハ左ノ證據書ニ依ルヘシ
- 一 土地ノ買收ニ係ルモノハ其ノ契約書
  - 二 土地ノ收用ニ係ルモノハ收用審査會ノ裁決書ノ謄本
  - 三 官民有地ノ交換ニ係ルモノハ地方廳ノ引渡證及其ノ受領證
  - 四 官有地ノ受領ニ係ルモノハ地方廳ノ引渡證
  - 五 官用地ノ還付ニ係ルモノハ地方廳ノ受領證
  - 六 官有財產ノ所管換ニ係ルモノハ當該官廳ノ引渡證又ハ其ノ受領證
  - 七 部局間ニ於ケル官有財產ノ所屬換ニ係ルモノハ當該部局ノ引渡證又ハ其ノ受領證
  - 八 工作物ノ新築、増築、改築、移築、買收及機械ノ据付又ハ船舶ノ新造、買收ニ係ルモノハ其ノ契約書
  - 九 直營工事ニ係ルモノハ竣功明細書
  - 十 官有財產ノ賣拂ニ係ルモノハ其ノ契約書
  - 十一 官有財產ノ解崩亡失其ノ他前各號ニ掲ケタル事項ハ其ノ決議書類
- 右證據書ニハ官有財產簿ニ登記濟ノ年月日ヲ記載シ主任官吏之ニ認印スヘシ
- 第十條 官有財產ノ價格ハ左ノ區別ニ從フヘシ
- 一 買上ニ係ルモノハ其ノ買上代價

- 二 新築又ハ増築ニ係ルモノハ其ノ建築費
  - 三 改築又ハ移築ニ係ルモノハ其ノ評價價格
  - 四 所管換又ハ所屬換ニ係ルモノハ其ノ目錄價格
  - 五 水面ノ埋立ニ係ルモノハ其ノ埋立費
  - 六 土地ノ交換ニ係ルモノハ其ノ交換價格
  - 七 土地收用法ニ依リ收用ニ係ルモノハ其ノ補償金額
  - 八 官有地ヲ編入シタルモノ又ハ買上代價若ハ建築費ノ不明ナルモノハ總テ其ノ評價價格
- 第十一條 部局長ハ其ノ所屬ノ地所建物船舶及機械ノ圖面ヲ備フヘシ  
地圖建物圖ハ第六號及第七號標準ニ依リ船舶及機械ノ圖面ハ五十分ノ一ノ縮尺ヲ以テ之ヲ調製スヘシ
- 第十二條 官有財產簿ニ登記シタル事項又ハ前條ノ圖面ニ變更ヲ生シタルトキハ直ニ之ヲ更正スヘシ
- 第十三條 官用地ノ疆界線上必要ノ箇所ニハ成ルヘク不朽ノ物質ヲ以テ其ノ界標ヲ建設スヘシ
- 第十四條 官用地ノ疆界明確ナラサルモノハ地方廳ニ協議シ地方官及關係地主立會ノ上之ヲ確定スヘシ
- 第十五條 部局ニ於テ官有地ヲ受領シ又ハ之ヲ使用セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ
- 一 所要ノ目的及其ノ事由
  - 二 所在地名及地番
  - 三 土地ノ種目
  - 四 土地ノ面積

- 五 第六號地圖調製標準ニ基キ調製シタル實測圖面
  - 六 當該府縣知事ニ協議濟書類ノ原本
  - 七 國有林野ノ受領又ハ使用ハ當該大林區署長ニ協議濟書類ノ原本
- 第十六條 部局ニ於テ公有水面ノ埋立ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ
- 一 前條第一號第二號及第六號ニ掲ケタル事項
  - 二 工法ノ概略及圖面
  - 三 埋立面積及使用面積
  - 四 第六號地圖調製標準ニ基キ埋立區域及使用區域ヲ區分シ三斜線ヲ記入シタル實測圖面並其ノ位置ヲ示シタル一般ノ地形圖但シ海面ハ海圖ニ依ルコトヲ要ス
- 前項第三號ノ埋立面積ハ其ノ護岸又ハ岸壁ノ天端ヲ基點トシテ之ヲ計算シ使用面積ハ其ノ護岸又ハ岸壁ノ天端ヨリ脚先(若之ニ基礎工事ヲ施シタル場合ハ其ノ脚先)ニ至ル區域ヲ境界トシテ之ヲ計算スヘシ
- 第十七條 公有水面埋立工事竣功シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ當該府縣知事ニ通知シ地租租換ノ手續ヲ請求スヘシ
- 第十八條 公有水面使用區域内ニ施設シタル護岸又ハ岸壁ノ維持修理ニシテ水陸ノ交界ニ變更ヲ及ホス工事ニ付テハ工事施行前當該府縣知事ニ協議シ其ノ回答書ノ原本ヲ添付シ大藏大臣ニ稟請スヘシ
- 第十九條 部局ニ於テ公有水面ノ一部ヲ使用セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ
- 一 第十五條第一號及第六號ニ掲ケタル事項

二 所在地名及使用面積

三 工作物ノ施設ヲ要スルモノハ其ノ種類工法ノ概略及圖面

四 第六號地圖調製標準ニ基キ其ノ區域ヲ示シ之ニ三斜線ヲ記入シタル實測圖面並其ノ位置ヲ示シタル一般ノ地形圖但シ海面ハ海圖ニ依ルコトヲ要ス

第二十條 部局ニ於テ河川法ヲ施行シタル河川ニ對シ同法第十七條乃至第十九條ニ記載シタル行爲ヲ爲サムトスルトキハ當該府縣知事ニ協議シ部局長限リ之ヲ處理スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ申報スヘシ

一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二 第十五條第五號ニ掲ケタル事項

第二十一條 部局ニ於テ土地購入ノ契約ヲ締結シタルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲ徵シ登記囑託書ヲ作り不動産登記法第三十一條ニ依リ遲滞ナク其ノ登記ヲ囑託スヘシ

第二十二條 前條ニ依リ登記囑託ノ手續ヲ了シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ直ニ大藏大臣ニ申報スヘシ

一 第十五條第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項

二 一筆毎ニ其ノ筆界ヲ示シ之ニ字名地番坪數(又ハ段別)ヲ記入シタル圖面

三 契約ノ年月日

四 買收價格及其ノ單價

五 登記濟ノ年月日

第二十三條 買收ニ係ル區域内ノ土地ニシテ二以上ノ地番ヲ有スルモノハ其ノ地番中首位ニ在ルモノヲ以テ該地ノ地番ト爲シ(二以上ノ小字アルモノハ小字毎ニ地番ヲ付シ)不動産登記法第七十九條ニ依リ地番變更ノ登記ヲ申請スヘシ

第二十四條 官有道路敷又ハ溝渠敷等ヲ受領セムトスルトキハ第十五條ニ掲ケタル事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ其ノ附換ヲ要スルトキ亦同シ

第二十五條 部局ニ於テ土地購入ニ際シ所有者之ニ應セサルカ爲其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ土地收用法第十三條ニ依リ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ

一 所要ノ目的及其ノ事由

二 土地所有者ニ交渉ノ顛末

三 第十五條第一號乃至第五號ニ掲ケタル事項

四 事業計畫書

五 土地所有者ノ住所氏名

第二十六條 部局所屬ノ官用地ヲ民有地ト交換セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ但シ元國有林野ヲ編入シタル土地ナルトキハ豫メ認可ヲ受クヘシ

一 交換ヲ要スル事由

二 第十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項

三 兩地トモ第六號地圖調製標準ニ基キ三斜線ヲ記入シタル實測圖面(數筆ノ土地ナルトキハ段別ヲ記入スヘシ)

四 所有者ニ協議濟書類ノ謄本

五 兩地ニ對スル地方廳土地評價委員ノ評價書ノ原本

前項ノ評價書ニハ兩地トモ其ノ算出ノ根據ヲ詳記セシムヘシ

第二十七條 部局所屬官用地ノ便益ニ供スル爲他人ノ土地ニ對シ地役權ヲ設定セムトスルトキハ其ノ目的及事由ヲ具シ契約書案ヲ添付シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十八條 前條ノ契約書案ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 要役地及承役地ノ表示
  - 二 地役權設定ノ目的
  - 三 地役權ノ範圍
  - 四 存續期間ノ定メアルトキハ其ノ期間
  - 五 其ノ他必要ノ條件
- 前項ノ契約書案ニハ第六號地圖調製標準ニ基キ地役權ノ範圍ヲ示シタル實測圖面ヲ添付スヘシ
- 第二十九條 官用地ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り特ニ其ノ使用ヲ許可スルコトヲ得
- 一 直接又ハ間接ニ官廳ノ便宜トナルヘキ事業ノ爲ニ使用スルトキ
  - 二 府縣郡市町村及公共組合ニ於テ公用ニ供スル爲ニ使用スルトキ
  - 三 公益事業ノ爲ニ使用スルトキ
- 前各號ノ使用期間ハ三箇年ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第三十條 公共團體又ハ個人ノ出願ニ依リ前條ノ範圍内ニ於テ部局所屬官用地ノ使用ヲ許可セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ其ノ繼續使用又ハ變更ヲ許可スル場合亦同シ
- 一 使用許可ノ目的及其ノ事由
  - 二 土地使用許可ノ命令書案
  - 三 願書ノ謄本
- 第三十一條 前條土地使用許可ノ命令書案ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 所在地名及地番
  - 二 使用ノ目的
  - 三 土地ノ面積

- 四 假設物ノ種類及其ノ坪數
  - 五 有料ナルトキハ其ノ金額
  - 六 使用期間
  - 七 必要ノ場合ニ於ケル使用許可取消シノ條件
  - 八 命令違反ノ場合ニ於ケル處分ノ條件
  - 九 出願者ノ住所氏名
  - 十 其ノ他必要ノ條件
- 前項ノ命令書案ニハ第六號地圖調製標準ニ基キ使用許可ノ區域ヲ示シタル圖面ヲ添付スヘシ
- 第三十二條 土地使用許可ノ命令條件ニ基キ其ノ許可ノ全部若ハ一部ヲ取消シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ直ニ大藏大臣ニ申報スヘシ但シ其ノ一部ヲ取消シタル場合ニハ其ノ區域ヲ示シタル圖面ヲ添付スヘシ
- 第三十三條 部局所屬ノ官用地不用ニ歸シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ還付スヘシ但シ
- 一 不用ニ歸シタル事由
- 第二十五條第二號第四號及第五號ニ掲ケタル事項
- 第三十四條 部局ニ於テ他廳ヨリ官有財産ノ所管換ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ
- 一 所管換ヲ要スル事由
  - 二 所在地名及地番
  - 三 名稱種類
  - 四 數量價格

五 第六號地圖調製標準又ハ第七號建物圖調製標準ニ依リ調製シタル圖面

第三十五條 部局ニ於テ他廳ノ官有財産ヲ使用セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ

- 一 前條第二號乃至第五號ニ掲ケタル事項
- 二 使用ノ目的及其ノ期間
- 三 他廳へ協議濟書類ノ原本
- 四 其ノ他必要ノ條件

第三十六條 他廳ノ請求ニ依リ部局所屬官有財産ノ所管ヲ移轉シ又ハ之ヲ供用セムトスルトキハ前二條ニ準シ必要ノ事項ヲ具シ大藏大臣ニ稟請スヘシ但シ一箇月以内ノ供用ハ部局長限リ之ヲ處理スルコトヲ得

第三十七條 甲乙部局間ニ於テ官有財産ノ使用ヲ移サムトスルトキハ其ノ事由及第三十四條第二號乃至第五號ノ事項ヲ具シ兩部局長連署ヲ以テ大藏大臣ニ稟請スヘシ

第三十八條 甲乙部局間ノ官有財産ノ使用ハ部局長限リ之ヲ處理スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記シ大臣官房營繕課長ニ報告スヘシ其ノ之ヲ返却シタルトキ亦同シ

- 一 所在地名
- 二 官有財産ノ種類(番號アルモノハ)數量
- 三 使用部局名
- 四 一部ノ使用ニ係ルモノハ其ノ區域ヲ示シタル圖面

第三十九條 使用部局ニ於テ前條官有財産ノ現形ヲ變更シタルトキハ其ノ元形圖ニ掛紙ヲ爲シ之ヲ表示シ大臣官房營繕課長ニ報告スヘシ

第四十條 部局所屬ノ建物及其ノ附屬物ヲ公用ニ供スル爲府縣都市町村又ハ公共組合ニ貸付ヒ

ムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ契約書案ヲ添付シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ保存ノ爲一時個人ニ貸付スル場合亦同シ

前項ニ依リ府縣都市町村又ハ公共組合ニ貸付スル場合ニ於テハ其ノ貸付料ヲ徵收セサルコトヲ得

第四十一條 部局ニ於テ不用ニ屬スル官有財産(土地ヲ)ヲ賣却セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ契約書案及第八號様式ニ依リ調製シタル賣却豫定價格調査(封書)ヲ添付シ大藏大臣ノ認可ヲ受ク

ヘシ但シ豫定價格百圓ヲ超ヘサルモノハ部局長限リ之ヲ處分スルコトヲ得

第四十二條 前條ノ規定ハ固定資本ニ屬スル土地賣却ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 前三條ノ契約書案ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

- 一 所在地名及地番
- 二 物件ノ種類及數量
- 三 契約保證金
- 四 貸付料又ハ拂下代金納付期限
- 五 貸付期限又ハ賣却財産引取期限
- 六 貸付財産ニ對スル使用ノ目的及其ノ制限
- 七 貸付財産ノ修理及其ノ他ノ費用負擔ノ方法
- 八 違約ノ場合ニ對スル處分ノ條件
- 九 其ノ他必要ノ條件

第四十四條 官有財産ノ貸付料及賣却代價ハ官有財産管理規則第四條及第六條ニ依リ納付セシム

賣却ニ係ル官有財産ハ其ノ代價納付済ノ後ニ非サレハ之カ引渡シテ爲スコトヲ得ス

第四十五條 官有財産ハ固定資本ニ屬スルモノヲ除クノ外修繕期限及保存期限ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ建物以外ノ物件ニシテ其ノ價格千圓未満ノモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ修繕期限ハ其ノ物件ノ全部ニ互リ異状ヲ生スヘキ年限ヲ標準トシ保存期限ハ其ノ新營費ノ三分ノ一ニ相當スル修繕費ヲ要スル年限ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ新營費ノ不明ナルモノハ二人以上ノ評價ヲ爲サシメ其ノ平均額ニ依ルヘシ

第四十六條 修繕期限ヲ經過セサル物件ノ修繕ヲ要シ又ハ保存期限ヲ經過セサル物件ニシテ使用ニ堪ヘスト認ムルモノアルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ大藏大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スヘシ

第四十七條 修繕期限ヲ經過シタル物件ニシテ尙ホ二箇年以上修繕ヲ要セス又ハ保存期限ヲ經過シタル物件ニシテ五箇年以上使用ニ堪フヘシト認ムルモノアルトキハ第四十五條ノ標準ニ依リ其ノ期限ヲ改定シ事實ヲ詳具シ大藏大臣ニ申報スヘシ

第四十八條 建物ハ一敷地毎ニ順次番號ヲ付スヘシ

第四十九條 部局長ハ官有財産修理簿ヲ備ヘ官有財産ニ修理ヲ加ヘタルトキハ其ノ時々左ノ事項ヲ登記スヘシ

一 名稱、種類及數量

二 修理ヲ加ヘタル事項及其ノ事由

三 修理ノ費用

四 工事竣功ノ年月日

第五十條 天災其ノ他ノ事故ニ因リ官有財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ直ニ大藏大臣ニ申報スヘシ但シ其ノ輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 大藏大臣ハ隨時検査員ヲ派遣シテ部局所屬ノ官有財産ヲ検査セシムヘシ

第五十二條 官有財産ノ現在目錄ハ第九號乃至第十二號報告例ニ依リ十年毎ニ其ノ年三月三十一日ノ現在ヲ調査シ翌年度五月三十一日迄ニ大臣官房營繕課長ニ報告スヘシ

前項ノ期間ハ官有財産管理規則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五十三條 毎會計年度間ニ於ケル官有財産ノ増減異動ハ左ノ二期ニ分テ第十三號乃至第十六號ノ報告例ニ依リ翌月十五日迄ニ大臣官房營繕課長ニ報告スヘシ

一 第一期 自四月 自九月 至三月 至十月

二 第二期 自三月 自八月 至二月 至七月

右ノ期間ニ増減異動ナキモノハ前項ノ期間内ニ其ノ旨ヲ報告スヘシ

第五十四條 前二條ノ報告書ニハ第十一條第二項ニ依リ調製シタル地所、建物、船舶及機械ノ圖面ヲ添付スヘシ但シ建物其ノ他ノ工作物ノ増築、改築、移築、移轉又ハ建物内部ノ變更ニ係ルモノハ第十七號地圖及建物圖更正標準ニ依リ其ノ圖面ヲ調製スヘシ

第五十五條 第一條ニ掲ケタル官有財産中營造物及其ノ附屬物ヲ家屋及其ノ附屬物ニ組織又ハ家屋及其ノ附屬物ヲ營造物及其ノ附屬物ニ組織又ハ甲地ニアル官有財産ヲ乙地ニ移轉シタルトキハ第五十三條ノ報告例ニ依リ報告スヘシ

第五十六條 官有財産ノ名稱又ハ建物ノ番號ヲ變更シ又ハ所在地名ニ變更ヲ生シタルトキハ第十八號報告例ニ依リ第五十三條ノ報告書ニ添付シテ報告スヘシ

第五十七條 部局所屬ノ建物ハ官舎貸渡規則ニ依リ所屬官吏ニ貸付スル場合ヲ除クノ外官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ住居セシムルコトヲ得ス但シ官有財産ノ保管又ハ取締上監守人ヲ置クノ必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十八條 前條但書ニ依リ監守人ヲ置キタルトキハ左ノ事項ヲ記シ大臣官房營繕課長ニ報告スヘシ

一 監守人設置ノ事由  
 二 官有財産ノ所在地名  
 三 監守人居住建物ノ番號  
 四 監守人ノ官氏名又ハ住所氏名

第五十九條 部局所屬ノ官舎ハ官舎貸渡規則ニ依リ所屬官吏ニ貸付スルノ外他屬ノ官吏ニ貸付スルコトヲ得ス

第六十條 部局ニ於テ新築ノ官舎ヲ貸付セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 所在地名及地番  
 二 官舎ノ戸數及一住居毎ノ坪數  
 三 建築費ニ對スル年八分ノ割合ヲ以テ宿代ヲ査定シ一住居毎ニ其ノ年額ト月額トヲ區分シテ宿代調書

第七號建物圖調製標準ニ基キ調製シタル圖面

第六十一條 部局所屬在來ノ建物ヲ以テ新ニ官舎ヲ設置セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 官舎設置ヲ必要トスル事由  
 二 前條第一號及第四號ニ掲ケタル事項  
 三 官舎ニ充用スヘキ建物ノ番號坪數及其ノ一住居毎ノ坪數  
 四 評價額ニ對スル年八分ノ割合ヲ以テ宿代ヲ査定シ一住居毎ニ其ノ年額ト月額トヲ區分シテ宿代調書

前項第四號ノ評價額ハ二人以上ノ評價ヲ爲サレ共ノ平均額ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第六十二條 官舎貸渡規則第三條ニ依リ官舎ノ宿代ヲ改正セムトスルトキハ前條ノ例ニ依リ之ヲ調査シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十三條 部局所屬官舎中官舎貸渡規則第一條但書ニ依リ公用間席ヲ設置セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 居住者ノ職務上公用間席ノ設置ヲ必要トスル事由  
 二 所在地名地番及其ノ官舎ノ番號

第七號建物圖調製標準ニ基キ其ノ區畫ヲ示シタル圖面

第六十四條 貸付ノ官舎ハ借受人ノ家族及雇人ノ外他人ヲ同居セシムルコトヲ得ス

第六十五條 貸付ノ官舎ハ借受人ニ於テ一切其ノ原形ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十六條 官舎ヲ貸付シタルトキハ左ノ事項ヲ記シ大臣官房審議課長ニ報告スヘシ

一 官舎ノ番號  
 二 借受人ノ官氏名  
 三 貸付ノ年月日

第六十七條 貸付ノ官舎返納ノ場合ニ於テハ借受人立會ノ上之ヲ檢査シ異狀ナキヲ認メタル後之ヲ受取ルヘシ

第六十八條 官舎借受人ノ故意又ハ過失ニ因リテ貸付ノ官舎及其ノ附屬物ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ大藏大臣ノ認可ヲ得テ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ

第六十九條 第六十七條ニ依リ返納ノ官舎ヲ受領シタルトキハ左ノ事項ヲ記シ大臣官房審議課長ニ報告スヘシ

一 官舎ノ番號  
 二 返納者ノ官氏名及其ノ年月日



第七十條 官舎ヲ貸付シタルトキハ部局長ハ左ノ事項ヲ當該府縣知事ニ通知スヘシ其ノ之ヲ返納シタルトキ亦同シ

一 所在地名及地番

二 官舎敷地ノ坪數

三 借受人ノ官氏名

四 貸付又ハ返納ノ年月日

第七十一條 官舎ヲ貸付シタルトキハ部局長ハ明治十九年內務省令第十九號第六條及第七條ニ依リ市役所町村役場ニ通知ヲ爲スヘシ其ノ之ヲ返納シタルトキ亦同シ

第七十二條 官舎貸渡規則第七條ニ依リ官舎借受人ニ於テ自費建設ノ出願アルトキハ左ニ掲ケタル事項ニ限り必要ノ條件ヲ付シ大藏大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ許可スルコトヲ得但レ其ノ輕微ナルモノハ部局長限リ之ヲ處理スルコトヲ得

- 一 十坪未滿ノ建物及其ノ他ノ工作物ヲ假設スルトキ
- 二 瓦斯電燈又ハ水道ヲ假設スルトキ
- 三 樹木ノ栽植ヲ爲ストキ

前項認可ノ稟請書ニハ物件設置ノ位置ヲ表示シタル圖面ヲ添付スヘシ

第七十三條 第六十四條乃至第六十九條、第七十一條及第七十二條ノ規定ハ官舎貸渡内規ニ依リ官舎ニ之ヲ準用ス

第七十四條 內閣印刷局、樞密院、會計検査院、行政裁判所、貴族院及衆議院ノ官有財產ニ付テハ第一條第五條乃至第十五條、第二十一條、第二十三條乃至第二十六條、第二十九條乃至第三十三條、第四十條、第四十五條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十六條、第七十條及第七十一條ノ規程ヲ準用ス

附則

第七十五條 此ノ規程ハ明治四十四年度ヨリ施行ス

第七十六條 明治四十三年度所屬官有財產増減異動報告ハ従前ノ報告例ニ依リ現在目錄及之ニ添付スヘキ圖面ハ此ノ規定ニ依リ調製報告スヘシ

第一號

凡例

- 一 本簿ハ本局、本關又ハ支局製造所、稅務署、支署、派出所等ノ口座ヲ設ケ管理スヘシ
- 二 本簿ニ登記スヘキ土地及附屬物ノ種類、名稱、單位ノ稱呼等ハ規程第五條表第一ニ依リ其ノ他ノ事項ハ第九號報告例ノ備考ヲ參照スヘシ

官 有 財 產 簿

土地及附屬物

何 部 局

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

購入年月		増減年月		修繕期限	保存期限	増				
年	月	年	月			年	年	坪	價格	附屬物 稱呼
85	6					1,000.00	6,000,000			
	夕							木	20	25,000
89	夕							所	4	4,000
	夕							同	50.0	50,000
	夕	44	5					夕	00.0	240,000

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

減					現在			備考
土地		附屬物			土地		附屬物	
坪數	價格	稱呼	數量	價格	坪數	價格	價格	
200.00	1,200,000				1,000.00	6,000,000	319,000	
		木	0	7,500	800.00	4,800,000	311,500	

第二號

官有財產簿													
<table border="1"> <tr> <th>在</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>附屬物</th> <th>價格</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>9,800,000</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>8,200,000</td> </tr> </table> </td> <td> </td> </tr> </table>	在	備考	<table border="1"> <tr> <th>附屬物</th> <th>價格</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>9,800,000</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>8,200,000</td> </tr> </table>	附屬物	價格				9,800,000		8,200,000		<p>營造物及附屬物</p> <p>何 部 局</p>
在	備考												
<table border="1"> <tr> <th>附屬物</th> <th>價格</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>9,800,000</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>8,200,000</td> </tr> </table>	附屬物	價格				9,800,000		8,200,000					
附屬物	價格												
	9,800,000												
	8,200,000												

凡一ニ 例  
 本簿ハ本局又ハ支前製造所檢務署支署派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 水簿ニ本局又ハ支前製造所檢務署支署派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 木簿ニ本局又ハ支前製造所檢務署支署派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 築物ニ本局又ハ支前製造所檢務署支署派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 依リニ本局又ハ支前製造所檢務署支署派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 中ノ其ノ他ノ事項ハ第十號報告例ノ備考ヲ參照スヘシ  
 (三)ノ記號ヲ附シ其ノ坪數ヲ併記スヘシ  
 (三)ノ記號ヲ附シ其ノ坪數ヲ併記スヘシ

名 廳							
記帳月日	報告期	摘 要	所 在 地	地圖番號	土 地		
					使用名	附屬物	
年月日			何府縣部市區町		何 敷 地		
44		官有地編入	村字地番	1			
4		土地ニ附屬シテ編入		1	ク	樹	木
				1	ク	石	造
				1	ク	樹	界
				1	ク	樹	界
				1	ク	樹	界
6		新設		1	ク	樹	界
3		第一期		1	ク	樹	界
		何部局ニ所屬換		1	ク	樹	界
				1	ク	樹	界

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財產取換規程

三三

名 稱													
請 要	所在地	地圖番號	管 造 物				建設年月	増減年月	修繕期限	保存期限	増 物		
			建物	構造	附屬物	建 物							
						二階坪					平家坪	價 格	
新 築 何部何リ所取換	何府縣郡市區町村	1	何舎	何造	何我	1	40	4		(三)1000	5000	30,000,000	
	ク	1	何工	ク	2	36	9	40	4		8000	50,000,000	
	ク	1	何便所	ク	8						500	200,000	
	ク	1	何廊下	ク	4						2500	535,000	
新 設	ク	1				40	4						
	ク	1											
	ク	1											
何所へ移設	ク	1											
	ク	1				44	6						

名 稱											
附 屬 物	附 屬 物	附 屬 物	減 物			現 物					
			二階坪	平家坪	價 格	二階坪	平家坪	價 格			
									附 屬 物	附 屬 物	附 屬 物
式	1	11,000,000									
ク	1	600,000									
所	1	200,000									
間		150,000,000,000				(三)10,000	50,000	160,000	80,735,000		
						(三)10,000	50,000	160,000	80,735,000		

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財產取換規程

三三

明治四十四年四月 訓令 大蔵省第二十一號 大蔵省所管官有財産取扱規程

屬物		減				現				在	
數量	價格	二階坪	平家坪	價格	附屬物	數量	價格	二階坪	平家坪	價格	附屬物
1	60,000										
10.0	45,000							26.00		980,000	95,000
			8.00	100,000	間	5.0	22,500	23.00		880,000	72,500

二二五

第三號

明治四十四年四月 訓令 大蔵省第二十一號 大蔵省所管官有財産取扱規程

備考	官 有 財 産 簿	
	家屋及附屬物	
	何 部 局	

二一凡  
 本簿ハ本局、本關又ハ支局、製造所、稅務署、支署、派出所等ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 依リ其ノ他ノ事項ハ第十一號報告例ノ備考ヲ參照スヘシ

記帳月日	報告期
年月日	四半期
44 4 1	三 月 末
ク	ク
ク	ク
ク	ク
ク	ク
ク	ク
ク	ク
610	第一期
ク	ク

二二四

第四號

官有財産簿

船舶及附属物

何部局

二一凡  
 本簿ハ本局又ハ支局製造所、事務所、派出所等ノ口出テ設ケ管理スヘシ  
 本簿ニ登記スヘキ船舶及附属物ノ種類、名称、單位ノ稱呼等ハ規程第五號及第四  
 二依リ其ノ事項ハ第十二號報告例ノ欄ヲ参照スヘシ

記帳 月日	報告期	摘要	應	
			年月日	摘要
44 4	1	新築	44 4	1
ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク
57	1	第一期	57	1
ク	ク	ク	ク	ク

名

所在地	地圖番號	家屋				建設年月	増減年月	修繕期限	保存期限	増							
		建物	構造	面積	附屬物					建			附				
										二階坪	平房坪	價格		坪呼			
何府縣郡市 區町村	1	何官舍	何造	1		30	8										
	1	何物便	何造	2		ク	ク				20.00	800.000					
	1	何物便	何造	8		ク	ク				8.00	100.000					
	1					ク	ク				8.00	80.000					
	1				木造門 板塀	ク	ク										
	1		何物	何造	2			44	5								

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

三二九

名														
船														
番號	總噸數	登簿噸數	馬力	汽機	汽機	航路	船		新造年月	増減年月	修繕期限	保存期限	船	
							船長	船幅					艘數	價格
1	2800	1400	1200	何	何	何航路			39	7			1	3,500,000
1														
1														
1														
1														
2							15.00	6.00	40	4			1	100,000
2							15.00	6.00	44	4				
2														
2														

名														
增														
附屬物	稱呼	數量	價格	減				現 在				備 考		
				船	船	附屬物	附屬物	船	船	附屬物	附屬物			
式		1	800,000											
夕		1	600,000											
投		1	200,000											
點		20	80,000											
點		5	10,000											
				1	100,000									
						點	5	10,000						
									2	3,600,000		1,140,000		
									1	3,500,000		1,180,000		

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

三二八

第五號

記帳月日	報告期	摘要	定額場		種類
			何縣何港	何縣何港	
44年4月1日	新造	新造	何縣何港	何縣何港	汽船
44年4月1日	購入	購入	何縣何港	何縣何港	小汽船
44年4月1日	新造	新造	何縣何港	何縣何港	汽船
44年4月1日	購入	購入	何縣何港	何縣何港	小汽船
44年4月1日	新造	新造	何縣何港	何縣何港	汽船
44年4月1日	購入	購入	何縣何港	何縣何港	小汽船
44年4月1日	新造	新造	何縣何港	何縣何港	汽船
44年4月1日	購入	購入	何縣何港	何縣何港	小汽船
44年4月1日	新造	新造	何縣何港	何縣何港	汽船
44年4月1日	購入	購入	何縣何港	何縣何港	小汽船

第一 土地及附屬物ノ部

何敷地	地	附屬物	坪位	坪	備註
溝	田	田	田	田	田
井	月	式	所	所	所
水	道	式	所	所	所
庭	石	窗	所	所	所
樹	木	木	坪	坪	坪
					木屑、木屑、何製造所、何支局、何出張所、何事務所、何支店等ノ文字ヲ冠スルコト
					雑石ハ之ヲ除ク
					暖管、給管、給水栓、防火栓等ヲ含ム
					下水、給水、溝、溝、溝等ヲ含ム

第一 營造物及附屬物ノ部		坪位	坪	備註
營造物	附屬物			
埋	下水	同	同	埋、土留、土留等ヲ含ム
貯	水池	同	同	
濾	水池	同	同	
數	煉瓦	同	同	從來遺止煉瓦、舊將遺煉瓦ト稱シタルモノ及其ノ附屬物ニ附屬スルモノヲ除ク
數	煉瓦	同	同	
數	瓦	同	同	
護	岸石垣	同	同	附屬物、護岸段及繋船柱ヲ含ム
土	留煉瓦	同	同	附屬物段ヲ含ム
土	留石垣	同	同	
土	留木樁	同	同	
土	留竹樁	同	同	
土	坡	同	同	附屬土留垣ヲ含ム
車	止石	同	同	
石	造程界標	同	同	
木	造程界標	同	同	



明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

講事堂	同		
應接所	同		
何工場	同		探取製造貨物製造、印刷抄紙等ノ文字ヲ冠スルコト
發電所	同		
機關室	同		
接房用機關室	同		
何上家	同		給出入等ノ文字ヲ冠スルコト
倉庫	同		
鹽倉	同		
車庫	同		
貯藏所	同		
收容所	同		
收投所	同		
何検査場	同		給出入貨物、器具等ノ文字ヲ冠スルコト
荷造場	同		
乾燥場	同		
官有貨物貯置場	同		

分析所	同		從來化學試驗室、鑑定室等ノ名稱ヲ付シタルモノ
何監所	同		
製圖室	同		
會議室	同		
職員小憩所	同		
物置	同		從來器具置場、材料置場、納庫等ノ名稱ヲ付シタルモノ
燃料置所	同		從來薪炭置所、石灰納庫、灰部屋等ノ名稱ヲ付シタルモノ
湯沸所	同		
炊事場	同		
賭所	同		
食堂	同		
門衛所	同		
蒸氣室	同		
寫真場	同		
醫務所	同		從來診療所、治療掛所ト稱シタルモノ
消防器具置所	同		
巡視詰所	同		從來巡視見張所、巡視控所、巡視派出所等ノ名稱ヲ付シタルモノ

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

守衛詰所	同		
守衛詰所	同		
小使詰所	同		從來守衛所、守衛見級所ノ名稱ヲ付シタルモノ
役夫詰所	同		從來小使部、小使室、小使控所、使丁室等ノ名稱ヲ付シタルモノ
水夫詰所	同		從來解裝夫詰所、人夫詰所、人夫小使等ノ名稱ヲ付シタルモノ
監視船員詰所	同		從來水夫部、水夫詰所等ノ名稱ヲ付シタルモノ
見張所	同		從來番人詰所、番所、監守所、監守舎等ノ名稱ヲ付シタルモノ
巡查派出所	同		
職工控所	同		從來職工詰所、職工部、職工休職所、電氣工詰所等ノ名稱ヲ付シタルモノ
著換所	同		
外人控所	同		
印刷所	同		從來活版所、印刷室、石版印刷所等ノ名稱ヲ付シタルモノ、但シ作業ニ關セサルモノニ限ル
火具置場	同		從來用火室、火器取貯所等ノ名稱ヲ付シタルモノ
印鑑渡場	同		
宿直所	同		
燒却場	同		從來石油、煤油、廢油、酒粕、糞、糞等ノ名稱ヲ付シタルモノ
醫務所	同		

鍛冶小屋	同		
作事場	同		
船塢	同		
廊下	同		
便所	同		
車庫	同		從來人力車庫、白粉車庫、馬車庫等ノ名稱ヲ付シタルモノ
供待所	同		
馬聚所	同		
沐浴所	同		
洗面所	同		
キートル室	同		
		(工作物)	
		木造門所	
		石造門	
		煉瓦造門	
		鐵造門	
		水門	





昇降機	同	地上機昇降機及基礎ヲ含ム
送風機	同	送風機送風路及基礎ヲ含ム
起重機	同	定置式ノモノ
變壓裝置	式	變壓器、配電盤、開閉器、用器電線及基礎等ヲ含ム
除塵裝置	同	
噴霧裝置	同	
瓦斯機關	臺	
石油機關	同	
風車	同	
秤量器	同	定置式ノモノ
冷却裝置	式	冷却機、配管、配管冷却用附屬器及基礎等ヲ含ム
製氷裝置	同	
蒸氣裝置	同	
蓄電裝置	同	蓄電池、配電盤、開閉器、蓄電機、配管電線及基礎等ヲ含ム
混泥土混合機	臺	
耐震力試験機	同	定置ノモノ

汽機	同	
消火裝置	式	「スプリンクラー」、唧筒配管及基礎等ヲ含ム
砕岩機	臺	
乾燥裝置	式	
蒸發機	臺	從來元種ト稱シタルモノ
壓縮機	同	

備考

- 一 一棟ノ建物ニシテ二以上ノ名稱ヲ有スルモノハ其ノ重ナル名稱ニ依ル
- 二 本表ニ記載ナキ建物及其他ノ工作物ハ各々其ノ用途ニ從ヒ適當ノ名稱ヲ付シ整理スヘシ
- 三 機械ハ其ノ主要ナル用途ニ依リ成ルヘク全裝置ヲ包括スル名稱ニ於テ整理シ該全裝置ヲ組織スル主要器具機械ノ名稱ヲ備考欄ニ記入スヘシ
- 四 同一種類ノ機械ハ共通名稱ヲ採リ其ノ動作又ハ用途ノ相違ニ從ヒ適宜區別シ本表ニ例示スル如ク名稱ノ左側ニ之ヲ註記スヘシ
- 五 共用ノ機械ハ別目トシテ整理スヘシ
- 六 機械ノ機能ニ於テ主要機械ノ附屬動作ヲ爲スモノハ總テ之ヲ其ノ主機ニ附屬セシメ其ノ名稱ヲ備考欄ニ記入スヘシ
- 七 名稱ハ成ルヘク簡單平易ヲ要スルハ勿論ナリト雖モ該名稱ニ依リ機械ノ構造又ハ裝置ヲ略シ了解シ得ルモノヲ用フヘシ
- 八 機械ノ名稱ハ成ルヘク慣用ノ邦語ヲ使用レ已ムヲ得サルモノニ限り原名ヲ用フヘシ
- 九 本表ニ記載ナキ機械又ハ裝置ハ前各項ニ基キ適當ノ名稱ヲ附シ整理スヘシ
- 十 特種ノ方法ヲ以テ取付ケタル機械ニ非サルモノ(例ハ八煙草製造機械、印刷用機械、旋盤、壓印機等ノ類)ハ總テ物品ト看做シ官有財産トシテ整理セス

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財產取扱規程

第三 家屋及附屬物ノ部

家屋	構造	附屬物	單位ノ稱呼	備考
大臣官舎	何造		坪	
祕書官官舎	同			
書記官長官舎	同			
議長官舎	同			
書記官官舎	同			
第何號官舎	同			
第何號官舎	同			
自第何號官舎	同			
至第何號官舎	同			
官舎	同			
倉庫	同			
取車部屋	同			
馬丁部屋	同			
車夫部屋	同			
馬車置所	同			
物置	同			
門衛所	同			

備考

一 門墻其ノ他ノ附屬物ハ營造物附屬物ノ例ニ依ル

第四 船舶及附屬物ノ部

船	附屬物	單位ノ稱呼	備考
小汽船		艘	
汽船			
汽機船			
石油發動機船			
起重機船			
卷揚機船			
抗打機船			
碎岩船			
土運船			
方塊運搬船			
煤炭土運搬船			
運搬船			

從來底開土運船 側開土運船 船ノ呼称

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財產取扱規程













ノ如キ者モハ其ノ概略ヲ撰寫シテ地名ヲ掲ケヘシ  
 第九條 圖上ノ建物ニハ總テ其ノ番號ヲ付シテ第七號標準ニ依リ調製シタル建物明細圖及官有財産簿ニ對照セシムヘシ  
 第十條 地圖敷設アルモノハ圖面右側ノ上部ニ順次番號(地圖第何號)ヲ朱記スヘシ  
 第十一條 前條ノ地圖ニハ其ノ地方刊行ノ地圖ニ基キ官用地ノ位置ヲ示シタル附近ノ地形圖(或ナルモノノ名稱)ヲ調製添付スヘシ  
 前項官用地ノ位置ハ朱線ニテ之ヲ示シ其ノ傍ニ其ノ使用名(何々敷地)ヲ朱記スヘシ  
 第十二條 地圖ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用フヘシ  
 第十三條 測量原簿又ハ測量原圖ハ他日ノ參考ニ供スル爲地圖ト共ニ保存スヘシ  
 第十四條 製圖用紙ハ總テ特水引美濃紙ヲ用フヘシ  
 第七號

建物圖調製標準

第一條 建物圖ノ縮尺ハ總テ二百分ノ一即チ三分ヲ以テ一間トス  
 第二條 建物階層ノ部分ハ掛紙(貼付ノ箇所ニハ主任)ニ敷クヘシ  
 第三條 建物ハ總テ其ノ周圍ノ間尺ヲ記入スヘシ  
 第四條 建物ノ坪數ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ計算スヘシ  
 一 磚瓦造(石造、コンクリート)其ノ他厚壁ヲ有スル建物ハ其ノ外壁ノ外法但シ腰壁及礎石ハ之ヲ算入セス  
 二 木造土蔵及鐵道ハ柱算  
 三 庭ノ坪數ハ第一號ノ建物ニ在リテハ其ノ外壁ノ外法第二號ノ建物ニ在リテハ柱算ヨリ庭柱若ハ軒柱算キマテノ距離及斷水又ハ梁算ノ距離ノ相乘積但シ三尺以内ノ距離ハ之ヲ除ク  
 第五條 建物ハ各室毎ニ其ノ坪數(日本間ニ在リテハ柱算)ヲ記入スヘシ  
 第六條 建物ハ總テ其ノ番號ヲ記入シ地圖建物ノ番號ニ對照セシムヘシ  
 前項建物番號ノ外官舎又ハ倉庫ノ如キ別ニ番號アルモノハ各々其ノ番號ヲ朱記スヘシ  
 第七條 建物圖ハ建物番號ノ順次ニ從ヒ地圖一葉毎ニ之ヲ編製シ其ノ右側ノ上部ニ地圖第何號附屬ト朱記スヘシ

第八條 圖上ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用フヘシ  
 第九條 製圖用紙ハ總テ特水引美濃紙ヲ用フヘシ  
 第十條 構造其ノ他ノ區別ハ凡ソ左ニ附記スル所ノ記號ニ從ヒ詳細其ノ形狀ヲ寫スヘシ若シ記號ナキモノハ總テ記號ヲ附ケ圖上ニ其ノ凡例ヲ示スヘシ

名	稱	記	號	名	稱	記	號	名	稱	記	號
上ケ下ケ窓			板	張		スト	ト	フ			
引込窓			筋	透	板	張	石	壁			
開キ窓			石	敷		煉	瓦	壁			
引込窓			四	疊	石	敷	雨	子	庇		
室内間仕切手摺			煉	瓦	敷	透	り	雨	子	庇	

片開キ入口	入口引込	突上ケ窓	鐵ボールド窓	木格子窓	運子窓	無雙運子窓
敷	西洋形便所	押入上ケ板	板流シ	兩便所	角縁側	床上爐
階	高欄付階段	勾配石敷	フツ	ラセン	柱	壁

第八號(用紙美濃十三行野紙)

賣却物件豫定價格調書

所在地	種類	番號	數量	價格	單價	豫定價格	備考
計							

備考

- 一 物件ノ種類數量ハ第十號乃至第十二號報告例ニ依リ各別ニ之ヲ記載スヘシ
- 二 價格ノ欄内ニハ總テ官有財産簿ニ登記ノ價格ヲ記載スヘシ
- 三 建物其ノ他工作物ノ一部ヲ賣却スルモノハ其ノ圖面ヲ添付スヘシ
- 四 賣却物件ノ現狀(毀損又ハ腐朽等ノ程度)及豫定價格算出ノ根據ハ備考ニ之ヲ詳記スヘシ

明治何年三月三十一日現在土地及附屬物

所在地	地番	土地	附屬物	數量	價格	單價	豫定價格	備考
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何
何府縣郡市區町	何	何	何	何	何	何	何	何









明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程

第十三號(用紙美濃十三行野紙)

(以下各表中△印ハ孰モ未書)

明治何年度(第何期)土地及附屬物増減異動報告

所在地	地番	土地	附屬物	數量	價格	出入増減	記事
何府縣郡市區町	三何	敷地		一〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇	何年何月	官有地編入又ハ
何府縣郡市區町	三何	敷地	樹木	二〇〇〇	二五〇〇〇	何年何月	土地ニ附屬シテ
何府縣郡市區町	三何	敷地	石	五〇〇〇	五〇〇〇〇	何年何月	編入又ハ買収
同			石造境界標	一〇〇	何〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地		何〇〇〇	何〇〇〇〇	何年何月	新設
同			井	一〇	何〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
同			溝	何	何〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
同			樹	何	何〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地	石	何	何〇〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地	木	何	何〇〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地	井	何	何〇〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地	溝	何	何〇〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
何府縣郡市區町	二何	敷地	樹	何	何〇〇〇〇	何年何月	何府縣郡市區町
合計							

右及報告候也  
年月日

大藏大臣官房總課長宛

部長印

第十四號(用紙美濃十三行野紙)

備考

一 本表ニ掲ケル土地及附屬物ノ種類ハ第五號表第一ニ依リ其ノ他ノ事項ハ第九號報告例ノ備考ニ依ルヘ

明治何年度(第何期)營造物及附屬物増減異動報告

地名	地番	營造物	附屬物	種類	數量	價格	建設年月	修繕年月	記事
何局	一何	倉庫		何	二〇〇〇	二〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	新設
同	一何	工場		何	一〇〇〇	一〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	同
同	二何	便所		何	五〇〇	五〇〇〇〇	何年何月	何年何月	同
同	二何	下		何	二〇〇	二〇〇〇〇	何年何月	何年何月	同
同	一何	橋		何	一〇	一〇〇〇〇	何年何月	何年何月	何部局ヨリ
同	一何	鐵道橋樑		何	一〇	一〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	何部局ヨリ
同	一何	石造門		何	一〇	一〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	新設
同	一何	土塀		何	八〇〇	八〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	同
何所	三何	燃料置所		何	五〇	五〇〇〇〇	何年何月	何年何月	何所ニ移築
同	三何	見張所		何	九	九〇〇〇〇	何年何月	何年何月	何所ニ移築
同	三何	木造門		何	一〇	一〇〇〇〇〇	何年何月	何年何月	改設

明治四十四年四月 訓令 大藏省第二十一號 大藏省所管官有財産取扱規程





○大藏省訓令第二十二號

森林法ニ依リ土地所有者ノ申請ニ對シ一定ノ行爲ヲ許可シタル場合ニ於テ地租條例ノ開墾又ハ地目變換ニ該當スルモノアルトキハ其ノ都度郡區町村字地番地目段別及許可年月日事由等ヲ所轄稅務署長ニ通知スヘシ

沖繩縣

明治四十四年四月八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省訓令第二十三號

明治三十六年大藏省訓令第三十一號稅務統計臺帳調製規程中左ノ通改正ス

稅務監督局 稅務署

明治四十四年四月十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

稅務統計臺帳樣式中

第五七砂糖消費稅表種別欄砂糖第一種ノ部甲、樽入黑糖ノ次ニ乙、樽入白下糖ヲ加ヘ乙、其ノ他ノモノヲ丙、其ノ他ノモノヲ改メ

○大藏省訓令第二十四號

明治四十二年大藏省訓令第二號中「上屋又ハ上屋以外ノ稅關所屬土地使用料」ヲ「稅關所屬土地建築物使用料」ニ改メ

稅關

明治四十四年四月十二日

大藏大臣 侯爵桂太郎

〔參照〕

明治四十二年三月十 大藏省訓令第二號ハ上屋又ハ上屋以外ノ稅關所屬土地使用料及稅關所屬土地建築物使用料ノ設定方ヲ

北海道廳 府縣

明治二十七年大藏省訓令第十一號地租名寄帳樣式凡例九中「田畑宅地、雜地(田、畑、宅地以外ノ土地)ノ三科目」ヲ「宅地及其ノ他ノ土地」ニ改メ十一ヲ刪除ス

明治四十四年四月十九日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○陸軍省訓令第七號

明治四十四年度陸軍省所管歲入歲出科目表別冊ノ通定

陸軍一般

明治四十四年四月十日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省訓令第八號

明治四十四年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス

陸軍一般

明治四十四年四月二十日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

歲出經常部

△印増設

款	項	目	節
陸軍本省	俸給		
軍費	△賞典		
	修繕費		
		△六分一	
		△五分一	

○文部省訓令第四號

北海道廳 府縣

今般市町村立小學校教育費國庫補助額ヲ増加セラレ勅令第四十九號ヲ以テ市町村立小學校教員加  
俸令中ニ改正ヲ加ヘラレタリ  
我國教育ノ發達近時見ルヘキモノアルニ至レリト雖之ヲ方今ノ情勢ニ顧ミテ尙改善ヲ要スルモノ  
尠カラズ特ニ國民道德ノ大本ヲ涵養シ健全ナル思想ヲ養成スルニ於テ一層力ヲ盡サ、ルヘカラサ  
ルモノアリ此ノ時ニ方リ紀元節ヲ以テ優渥ナル 勅語ヲ下レ其ノ中ニ教ヲ教フスヘキ旨ヲ宣レ給  
フ局ニ教育ニ當ル者豈ニ夙夜寔々 聖旨ヲ服膺シテ其ノ貫徹ニ努メサルヘケンヤ  
國民教育ノ改善ヲ圖ランニハ教員ヲシテ忠實勤勉永ク其ノ職務ニ盡瘁セシメサルヘカラス曩ニ市  
町村立小學校教育費國庫補助法ヲ設ケラレ小學校教員加俸ノ制ヲ定メラレタル亦此ノ趣旨ニ外ナ  
ラス然ルニ從來補助ノ金額十分ナラザリシヲ以テ永年勤績者ニシテ尙未タ加俸ノ典ニ浴セサル者  
尠カラサルノミナラス成績特ニ優良ナル者ニ對シテ尙之ニ相當スヘキ加俸ヲ支給スルヲ得ザリ  
シハ頗ル遺憾トスル所ナリ今回政府ニ於テ特別ノ財源ヲ索メ小學校教員ノ加俸ヲ増額スルノ計畫  
ヲ立テタル所以ノモノ實ニ今回ノ 聖勅ニ對シ奉リ特ニ國民教育ノ改善ヲ圖リ以テ教員ノ 聖旨  
ヲ貫徹センコトヲ期スルニ外ナラス  
地方長官ハ宜シク此ノ趣旨ヲ體シ改正加俸令ノ施行其ノ宜キヲ得國民教育ノ改善ヲ圖ルニ於テ  
還算ナキコトヲ期スルト共ニ教員ヲシテ今回ノ加俸令改正ハ全ク優渥ナル 聖恩ニ基キタルモノ  
ナルコトヲ念ヒ益々奮勵シテ道德教育及國民教育ノ基礎ヲ確實ニシ以テ其ノ重大ナル任務ヲ全ウ  
センコトヲ努メシメラルヘシ

明治四十四年四月一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省訓令第五號

大臣官房會計課

明治四十三年度當省所管學校及圖書館歲入歲出科目表ニ左ノ通り追加ス

直轄諸學校 帝國圖書館

一歳出經常部學校及圖書館ノ款病院費ノ項雜費ノ目中末位ニ給水料ノ節ヲ加フ

文部大臣 小松原英太郎

○農商務省訓令第六號

大臣官房會計課

明治四十四年度當省所管學校及圖書館歲入歲出科目表ニ左ノ通り追加ス

直轄諸學校 帝國圖書館

一歳出經常部學校及圖書館ノ款俸給ノ項中末位ニ賞與ノ目ヲ加フ

文部大臣 小松原英太郎

○農商務省訓令第六號

農商務大臣 岡野大浦兼武

明治四十四年度歲入歲出及森林資金歲入歲出科目左表ノ通り心得ヘシ

明治四十四年四月一日

科目表	
歳入經常部	
款	項
官業及官有財産收入	
森林收入	
主産物下	
代産物下	
代所製下料	
代所製下料	
代所製下料	
代所製下料	
代所製下料	





農林資金出		農林資金入	
款	項	款	項
雜費	給	林野拂下代	林野拂下代
旅費	外 國 旅 費		
賠償及訴訟費	內 國 旅 費		
管轄費			
通信運搬費			
種苗購買費	足尾國有林 維持費		
	足尾國有林 植樹費		
	雜費		
	給		
	奉業費		
	旅費		
	責任修給		
	責任修給		
	器具修給		
	支消品		
	給材料		
	通信運搬費		
	雇員給		
	備人料		
	種苗購買費		
	雜費		
	給		

○農商務省訓令第七號

林野拂下代

農林資金出		農林資金入	
款	項	款	項
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代
林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代	林野拂下代

標柱建設規程左ノ通定ム

明治四十四年四月四日

農商務大臣 男爵大浦兼武

府縣

- 標柱建設規程
- 第一條 地方長官ハ本規程ニ依リ保安林及森林法第三十二條ノ規定ニ依リ開墾制限禁止地ニ標柱ヲ建設スヘシ但シ御料林野及國有林野ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 標柱ハ治水上重要ナル關係ヲ有スル箇所ヨリ順次ニ之ヲ建設スヘシ
- 第三條 標柱ハ一團地ニ付一本トス但シ其ノ面積ノ廣狹交通ノ狀況取締ノ便否共ノ他ノ事情ヲ斟酌シ適宜ニ其ノ數ヲ増加スルコトヲ得
- 第四條 標柱ハ方三寸以上、地上三尺以上トシ表面ニ保安林種開墾制限地又ハ開墾禁止地ノ表示、裏面ニ建設年月日、標柱番號、府縣名、側面ニ當該地域ヲ認識シ得ヘキ文字ノ記載ヲ爲スヘシ
- 第五條 地方長官ハ第一號様式ノ標柱受帳ヲ作製シ標柱ノ建設又ハ補修共ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ
- 第六條 地方長官ハ當該年度所要ノ標柱建設費及補修費ヲ調査シ第二號様式ノ標柱調査書ヲ前年



度二月末日迄ニ農商務大臣ニ提出スヘシ  
 第七條 地方長官ハ第三號様式ニ依リ毎年六月末日迄ニ前年度ニ於ケル建設及補修成績表ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六條中二月末日トアルハ明治四十四年度ニ限リ明治四十四年五月末日トス

第一號様式

標柱登録帳

郡市(町村)	大字	字	地番	保安林種	面積	面積	面積	備考

注意  
 一 郡市別保安林開墾制限地開墾禁止地別ニ口座ヲ設ケ區別スヘシ  
 二 開墾制限禁止地ニハ保安林種登錄番號ノ二欄ヲ除ク

第二號様式

明治 年度標柱調査書

種別	面積	新設		補修		備考
		本數	單價總額	本數	單價總額	
保安林						
開墾禁止地						
開墾制限地						
計						

三 備考欄ニハ標柱改設補修年月日其ノ他参考上必要ノ事項ヲ記載スヘシ  
 四 開墾制限地ニハ開墾地中ノ主ナルモノ一筆ヲ記載シ外何筆ト記スルモ妨ナシ

第三號様式

標柱建設及補修成績表

種別	面積	箇所地	本數	本數	新設		補修		備考
					本數	單價總額	本數	單價總額	
保安林									
水源涵養林									
土砂停止林									
何									
計									
開墾禁止地									



○農商務省訓令第九號

明治三十七年農商務省訓令第八號生絲検査所處務規程中左ノ通改正ス

明治四十四年四月二十七日

農商務大臣 男爵大浦兼武

第一條中正置部第二號ノ次ニ「生絲ノ化學的試験ニ關スル事項」ノ一號ヲ加フ

第十一條中「毎年一回検査」ノ下竝同條但書中「検査」ノ下ニ「及試験」ヲ加フ

第六條中「二十圓」ヲ「二十五圓」ニ改ム

○農商務省訓令第十號

明治三十八年農商務省訓令第六號花蔴検査所處務規程中左ノ通改正ス

明治四十四年四月二十七日

農商務大臣 男爵大浦兼武

第五條中「月俸金二十圓日給金六十錢以下ノ雇員ヲ採罷シ」ヲ「月俸二十五圓日給八十錢以下ノ雇員ノ採罷實與並」ニ改ム

同條但書中「採罷」ノ下「賞與」ヲ加フ

○農商務省訓令第十一號

明治二十五年<sup>四</sup>農商務省訓令第八號ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年四月二十七日

農商務大臣 男爵大浦兼武

〔参照〕

明治二十五年<sup>四</sup>農商務省訓令第八號ハ續山監督者長檢限ナリ

○朝鮮總督府訓令第二十一號（官報四月五日）

外國旅券規則取扱手續中第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

外國旅券規則第一條第二項ニ依リ願書ニ添附シタル寫眞ハ一葉ヲ願書ニ一葉ヲ旅券ニ貼付シ之

ニ契印ヲ押捺スヘシ

附則

本令ハ明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府訓令第二十二號（官報四月五日）

朝鮮總督府鐵道局職員救濟組合理則第一號表ヲ左ノ通改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一號表	
傷疾ノ等級	救濟金額
第一等	給料二箇年六箇月分
第二等	給料一箇年七箇月分以上二箇年六箇月分以内
第三等	給料一箇年一箇月分以上一箇年六箇月分以内
第四等	給料七箇月分以上一箇年分以内
第五等	給料一箇月分以上六箇月分以内

本表ノ給料ハ日給ヲ受ケル者ニ在リテハ三十日分ヲ以テ一箇月ノ額トシ其ノ二十倍ヲ以テ一箇年ノ額トス

○朝鮮總督府訓令第二十三號(官報四月十一日)  
道事務分掌規程中左ノ通改正ス

明治四十四年四月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

京畿道及平安南道ニ於テハ前項ノ外水道係ヲ置ク

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

水道係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 水道ノ維持ニ關スル事項

二 給水ニ關スル事項

三 水道收入ニ關スル事項

附則

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○朝鮮總督府訓令第二十四號(官報四月十三日)

朝鮮總督府所屬官廳會計事務章程中左ノ通改正ス

明治四十四年四月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一條第一項中「觀測所」航路標識管理所ヲ削リ「稅關」ノ次ニ「平壤鑛業所」ヲ加フ

第二條中第一項「觀測所」航路標識管理所ヲ削リ「醫院」ノ下ニ「慈惠醫院ヲ含ム」「專賣局」ノ次ニ「警務部」ヲ加ヘ左ノ一項ヲ追加ス

「各廳ノ長官ハ朝鮮總督ノ承認ヲ得テ部下ノ官吏ニ職入徵收事務ヲ委任分掌セシムルコトヲ得」

第三條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ部下ノ官吏ニ委任シ出納命令ヲ發セシムルコトヲ得

第四條第一項第二號中第十條ノ二ノ下ニ「同第十二條」ヲ加フ

第七條中即日ノ下ニ「第一號甲書式」ヲ加フ

第九條中「平壤鑛業所」ヲ削ル

第十條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ府、郡及慈惠醫院ハ道長官、警務部及警察署ハ警務總長ニ於テ總括シ之ヲ提出スヘシ

第十三條 毎年度末ニ於ケル經費ノ現計書ハ第五號書式ニ依リ之ヲ編製シ仕拂命令官ハ翌月十日迄ニ本府ニ、現金前渡ヲ受ケル官吏ハ翌月三日迄ニ所管仕拂命令官ニ之ヲ提出スヘシ

第十四條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ納入告知書ヲ發セサル場合ニ於テハ調定原簿ニ登記ヲ要セス

第十五條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

「但シ通信官署出納官吏ノ通知中收入官吏ノ拂込ニ係ルモノヲ除ク」

同條第二項トシテ左ノ一項ヲ加フ

通信官署出納官吏ヨリ受ケタル收入濟通知書ハ其ノ領收日付ニ依リ各月ニ區分シ其ノ表紙ニ口數及金額ヲ記入シ置クヘシ

第十六條「監獄分監、稅關支署其ノ他」トアルヲ「其ノ所管内」ト改ム

第十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

收入官吏並通信官署出納官吏ノ取扱ニ係ル職入金ハ金庫領收通知ニ依リ職入徵收官現金拂込ノ整理ヲ爲スヘシ

第十八條第三項中「監獄分監、稅關支署其ノ他」ヲ削ル

第二十條ノ二「職入事務分掌者ハ職入徵收官ニ準シ共ノ事務ヲ取扱ヒ毎月徵收報告書ニ準シタル報告書ヲ編製シ翌月三日迄ニ之ヲ職入徵收官ニ送付スヘシ

歳入事務分掌者ニ於テ發スル納入告知書又ハ其ノ所屬收入官吏ノ發スル現金拂込書及納付書ニ  
ハ取扱廳名ノ左側ニ其ノ廳名ヲ記入スヘシ

歳入事務分掌者ノ取扱ニ係ル收入官吏ノ收入濟通知及歳入明細書、通信官署出納官吏ノ收入濟  
通知及歳入金領收高月計通知ハ當該歳入事務分掌者ニ送付スヘシ

第二十一條第二項中「但書」ヲ「第二項」ニ改ム

第二十二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ府郡及慈惠醫院ノ分ハ道ニ併算スヘシ

第二十三條第一項中「所管」ヲ「其ノ廳及所屬」ニ改ム

第二十四條第一項「徵收簿」ノ下ニ「及調定原簿」ヲ加フ

第三十條 租稅、關稅、稅關雜收入、驛屯賭收入ニシテ本章ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ別ニ之ヲ  
定ム

第三十一條第一項中「觀測所及航路標識管理所」ヲ削リ同條第二項ヲ削除ス

第三十二條ニ左ノ一項ヲ追加ス  
前項各廳ノ外仕拂命令官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ經テ現金前渡ヲ受ケ  
ル官吏又ハ同分任官吏ヲ置クコトヲ得

第三十三條ヲ削ル

第三十六條「記載例」ノ下ニ「明治二十三年七月大藏省令第十七號及」ヲ加フ

第三十六條ノ二 現金前渡ヲ受ケタル官吏其ノ分任官吏ニ現金ヲ交付シタルトキハ現金出納簿及  
第二十一號書式乙ノ經費分任内譯簿ニ登記スヘシ  
現金前渡ヲ受ケタル分任官吏ハ主任官吏ニ準シ其ノ事務ヲ取扱ヒ第五十九條ノ例ニ準シ計算書  
ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月五日迄ニ之ヲ主任官吏ニ送付スヘシ

主任官吏前項ノ計算書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ經費内譯簿及經費分任内譯簿ニ登記スヘシ

第六十一條第二項但書ヲ左ノ如ク改ム  
「但シ誤謬ヲ爲シタル當月ニ於テ訂正シタルモノヲ除ク」

第七十八條中「不用」ノ二字ヲ削リ「賣却セムトスルトキハ」ノ下ニ「別ニ規定アルモノヲ除ク外」ヲ  
加フ

第八十一條「保管物」トシテ「明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則」ヲ加フ

第八十六條ニ左ノ一項ヲ追加ス  
在監人所持金ハ預金規則第一條第二項ニ準シ明治二十三年大藏省令第十九號預金取扱規則ニ依  
リ金庫ニ預入スルコトヲ得

第八十八條ニ左ノ一項ヲ追加ス  
預金トシテ金庫ニ預入シタル在監人所持金ハ預金取扱規程ニ依リ之ヲ引出シ拂戻スヘシ

第九十二條 物品ヲ大別シテ左ノ六種トス

- 第一類 廳用品
- 備品
- 消耗品
- 作業品

- 器具器械
- 消耗品
- 素品
- 製品

第二類 獄用品

備品

消耗品

第四類 動物

第五類 印紙類

第六類 工事材料品

輸出入貨物買上及沒收品其ノ他特種ノ物品ハ別ニ整理スヘシ

第九十三條 各廳及其ノ支部局ニ物品會計官吏ヲ置ク

物品會計官吏ハ第三十三號甲乃至丁書式ノ帳簿ヲ備ヘ物品ノ出納シ之ニ登記シ現品ヲ整理スヘシ

前項ノ帳簿ノ外便宜補助簿ヲ備フルコトヲ得

第九十三條ノ二 左記物品ノ外ハ第三十三號ノ戊及己書式ノ帳簿ニ登記シ各本簿ヲ省略スルコトヲ得

- 一 平壤鐵業所及印刷局ニ於ケル作業品
  - 二 土地調査局ニ於ケル作業品中器具器械及消耗品
  - 三 專賣局工業傳習所、醸造試驗所、煉瓦製造所、土管製造所及監獄ニ於ケル作業品中素品及製品
  - 四 勸業模範場ニ於ケル作業品中製品
  - 五 動物、印紙類及工事材料品(一)工事三千圓未満  
(二)建築材料ヲ除ク)
- 第九十七條中製圖具ヲ製圖用品ト改ム
- 第九十八條ノ下ニ「ヲ置ク能ハサル支部局ニ」ト改ム
- 第一百條第一項中「職員用ノ物品」ハ「ノ下ニ」第三十五號書式ノ内譯簿ニ登記シ「ヲ加フ

第一百一條中「物品取扱主任」トアルヲ專用品、共用品ト改ム

第一百四條 各廳長官ハ三箇年ヲ一期トシ検査ノ官吏ヲ命シ所屬物品會計官吏ノ保管スル物品ノ全部ヲ検査セシメ其ノ調書ヲ作ラシメ本府ニ提出スヘシ物品會計官吏ヲ置カサル支部局ノ物品ハ各廳長官ニ於テ毎年一回若ハ物品會計官吏交替ノ際検査ノ官吏ヲ命シ現在及出納ノ實況ヲ調査セシメ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

第一百五條ニ左ノ一項ヲ追加ス

會計検査院ヨリ委託検査ニ係ル物品ハ計算書ヲ省略シ帳簿ヲ以テ出納ヲ證明スヘシ

第一百六條中物品出納命令官ハ「ノ下ニ」前條計算書ノ「ヲ加フ

第一百六條ノ二 驛屯賭收入ニ屬スル現品ノ出納ニ就テハ別ニ之ヲ定ム

書式第一號ニ節ノ欄ヲ加ヘ第二號甲、第七號、第八號、第三十二號甲、乙、丙、三十四號及三十五號ヲ左

ノ通改メ第二十一號乙及第三十三號丁、戊、己ヲ追加シ第九號乙記載例ニ左ノ追加ヲ

差額ハ超過額ト不足額トノ差引ヲ爲サス各相當欄ニ掲載スルモノトス

附則

本令ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス

書式甲第一號

檢定書

明治何年度(モノハ取捨ノ期間)

一金何圓

内

金何圓

金何圓

(主任收入官吏ノトキハ「」内ノ文字ヲ除ク)

現金收入高

前年度ヨリ高(又ハ責任者)  
本年度收入高

一金何圓

拂出高

金何圓

金庫(拂込高) 何

差引金何圓

右ハ何廳主任收入官吏官氏名「所屬何何(正廳)分任收入官吏官氏名」(何何)會計規則第九十一條ニ依リ定期(臨時)検査ヲ執行候處前記ノ通候也

明治何年何月何日

検査員 官氏 名印

何廳收入官吏「所屬」 何何(正廳)分任收入官吏「官氏 名印」

(現金收入ナキトキノ例)(以下現金取扱ナキトキハ本例ニ依ル)

檢定書

何廳主任收入官吏官氏名「所屬何何(正廳)分任收入官吏官氏名」(何何)會計規則第九十一條ニ依リ定期(臨時)検査ヲ執行候處現金ヲ收入セシモノ無之候也 (以下前例ニ依ル)

檢定書

明治何年度(一)年度ヲ指ス)

一金何圓

現金受入高

内

金何圓

前年度越前高(又ハ前年度) 本年度受入高

一金何圓

仕拂高

内

金何圓

拂出高

差引金何圓

繰入(納付)高 現在高

内釋

金何圓

何所ニ保管高

右ハ何廳出入帳出外現金出納官吏官氏名(何何)會計規則第九十一條ニ依リ定期(臨時)検査ヲ執行候處前記ノ通り候也

一金何圓

自己保管高

明治何年何月何日

検査員 官氏 名印

何廳出入帳出外現金出納官吏「官氏 名印」(主任前渡官吏ノトキハ「内」ノ文字ヲ取テ)

内

金何圓

現金受入高

一金何圓

前年度越前高(又ハ前年度) 本年度受入高

内

金何圓

仕拂高

差引金何圓

返納高

内釋

金何圓

現在高

金何圓

何地金庫ニ保管高

右ハ何廳現金前渡ヲ受ケタル官吏官氏名「所屬何何(正廳)分任官吏官氏名」(何何)會計規則第九十一條ニ依リ定期(臨時)検査ヲ執行候處前記ノ通り候也

明治何年何月何日

検査員 官氏 名印

何廳現金前渡ヲ受ケタル官吏「所屬」 何何(分任官)「官氏 名印」





書式第八號ノ丙

何年度歳入増減事由表

(項)		(目)						(目)何 以下此例ニ依ツ
増		前年度調定繰越額	既往年度分調定額	調定内過額納額	調定外過額納額	過額納外ノ下戻相當額	何ノノ爲増	
減		不納缺損額	翌年度繰越額	調定未済額	何ノノ爲減	計	計	
		計	計	計	計	計	計	

以下各目此例ニ依ツ

- 備考
- 一 既往年度分調定セシハ何何ニ由ル
  - 一 調定内過額納額ハ何何ニ由ル
  - 一 調定外過額納額ハ何何ニ由ル
  - 一 過額納外ノ下戻相當額ハ何何ニ由ル
  - 一 不納缺損額ハ何何ニ由ル
  - 一 調定未済額ハ何何ニ由ル
- 調製備考
- 増減ノ欄中何何ノ爲減或ハ何何ノ爲増トアルモノハ増減ノ一體額等ニ各別ニ掲記スヘシ

書式第二十一號ノ乙

備考	

明治何年度經費分任内譯簿

何 廳 (款) (項) (目)

預算分賦高	現金交付高	精 算 高		預算高ト交付高トノ差	交付高ト精算高トノ差
		仕 拂 高	返 納 高		

### 備 品 出 納

(品目) (單位ノ稱呼) .....

年月日	摘要	單價	受 入				拂 出				
			數 量			計	數 量			計	
			總	買入	其他		數量	價格	其他		價格

記載例  
 應用品及獸用品土地調查局作業品中器具機械ノ價格ハ受入ノ時單  
 動物飼育家ハ本簿ニ準ス但便宜本簿ヲ用レ適當ノ欄ニ登録スルコ

### 簿 (廳用品備品) (獄用品備品) (作業品器具機械)

出 計		現 在			備 考
數量	價格	供用	在庫	計	

年月日 摘要

價ノミヲ記録スルモノトス  
トフ得

明治四十四年四月 勅令 朝鮮總督府第二十四號

101

書式第三十三號ノ丙

現在		備考	明治 (品目) (單位ノ稱呼)									
數量	價格		年月日	摘要	單價	受數						
						<table border="1"> <tr> <td>總</td> <td>買入</td> <td>付</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	總	買入	付			
總	買入	付										

記載例  
 廳用品及獄用品消耗品價格ハ受  
 工業簿署所作業品中業品・土地課

書式第三十三號ノ乙

明治四十四年四月 勅令 朝鮮總督府第二十四號

100

年度消耗品出納簿 (廳用品 消耗品) (作業品消耗品) (獄用品 消耗品) (作業品素品) (工事 材料品)									
入		出				現在		備考	
計	其他	數量	價格	消耗	廢却	其他	數量	價格	

入ノ時單價ノミヲ記載スルモノトス  
 或局作業品中消耗品ハ價格ノ登記ヲ要セス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十四號

三〇三

納簿										
出				残	備	考	年月日	總	要	(品目)
焼却	返納	其他	計							

書式第三十三號ノ丁

明治何年度製品出納簿

(單位ノ稱呼)

單價	受				入				拂				出						
	起		生産		賣却		計		賣却		亡失毀損		何々		賣却		計		
	數量	價格	數量	價格	差増	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	差減	數量	價格	數量	價格	

記號例  
 價格ハ製品代及間接費用ヲ含ミタル即原價ヲ登記スルモノトス  
 工業簿置所及貯藏場所ニ於テハ價格ノ登記ヲ要セス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十四號

三〇二

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十四號

消耗品出納簿  
(品目) (單位) (稱呼)

年月日	受納命 官印	数量	單位	受價	拂	發	備	要	物品會計	
									官印	受印

三〇五

書式第二十三號ノ己  
用品出納簿  
(品目) (單位) (稱呼)

年月日	受納命 官印	数量	單位	受價	拂	發	備	要	物品會計	
									官印	受印

書式第二十三號ノ戊 用品出納簿 物品ノ種類及受納ノ事項ハ摘要ニ記載スヘシ

## 出 紙 印

(種類) (單位) (稱呼)

年月日	摘要	受 入			拂			
		越	元受	計	實却	保管 轉換	交換	亡失

記載例  
 生産保管轉換受入ノ種類ハ摘要ニ記載スヘシ  
 拂ノ定價下若クハ割引買下ハ欄ニ詳記スヘシ

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十四號

三〇六



第五條 歳入歳出豫算中節ノ新設若ハ改廢ハ通信局長官ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ執行ノ後直ニ之ヲ報告スヘシ

第二章 歳入

第六條 歳入ハ歳入徴收官之ヲ調定シ納入告知書ヲ發シ郵便官署ノ出納官吏出納員又ハ金庫若ハ收入官吏ニ納付セシムヘシ但シ納入告知書ヲ發セシメテ郵便官署ノ出納官吏出納員又ハ收入官吏ニ即納セシムルコトヲ得

第七條 通信局長官ハ航路標識管理所長 觀測所長 郵便爲替貯金管理所長 光濟丸船長及郵便局長ヲシテ歳入徴收ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八條 郵便官署ノ出納官吏又ハ出納員ノ領收シタル歳入金ハ明治四十三年十月大藏省令第四十四號朝鮮總督府通信官署現金受拂規則第一條ニ依リ、收入官吏ノ領收シタル歳入金ハ明治二十二年十月大藏省令第十三號ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第九條 納付期間内ニ納金ヲ完納セサル者アルトキハ歳入徴收官ハ速ニ之ヲ納入方ヲ督促スヘシ第十條 歳入徴收官ハ徴收簿及分掌歳入徴收官吏ノ報告書ニ基キ明治二十六年十一月大藏省令第三十二號中第四號様式ノ徴收報告書ヲ一般會計ト特別會計ト各別ニ調製シ、歳入金月計對照表ヲ添ヘ翌月末日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第十條 歳入徴收報告書ニハ別ニ副本ヲ添附スヘシ

第十一條 歳入徴收官ハ毎年度歳入増減計算書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ提出スヘシ第十二條 歳入科目ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ訂正ノ手續ヲ爲シ若シ報告濟ノモノナルトキハ共ノ訂正ヲ爲シタル月ノ報告書ニ之ヲ掲ケ共ノ事由ヲ詳記スヘシ

年度ニ誤記アルヲ發見シタルトキハ明治二十四年五月大藏省令第十一號ニ依リ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 毎年度歳入未済ニシテ翌年度ニ繰越スヘキ歳入アルトキハ歳入徴收官ハ明治二十四年

八月大藏省訓令第六十八號ニ依リ取扱ヒ最終歳入徴收報告書ニ共ノ事由ヲ記載スヘシ

繰越ニ係ル歳入ニシテ尙後年度ニ繰越ヲ要スルトキハ明治二十五年四月大藏省訓令第二十五號ニ依リ之ヲ取扱ヒ明治二十一年二月大藏省訓令第十二號ノ歳入繰越額計算書ヲ翌年度四月十五日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第十四條 歳入金ノ過誤納ヲ發見シタル場合ニ於テ其ノ下戻ヲ要スルトキハ通信局長官之ヲ決行スヘシ

第十五條 歳入徴收官ハ明治三十四年六月會計検査院達第四號租稅外歳入徴收額證明規程ニ依リ歳入徴收額計算書ヲ調製シ其ノ内譯トシテ自己直接取扱ニ係ル徴收額計算書及分掌歳入徴收官吏ノ提出セル徴收額計算書並證書類ヲ添ヘ翌年度五月三十一日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第十六條 收入官吏ハ明治三十三年五月會計検査院達第二號收入證明規程ニ依リ毎年度歳入計算書ヲ調製シ證書類及會計規則第九十三條ノ檢定書ヲ添ヘ翌年度四月十五日迄ニ之ヲ歳入徴收官ニ送付シ歳入徴收官ハ四月二十日迄ニ其ノ下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ提出スヘシ

第十七條 歳入徴收官交替シタル場合ニ於テハ十五日内ニ前條ノ例ニ準シ收入計算書ヲ提出スヘシ

第十八條 歳入徴收官ハ左ノ帳簿ヲ設備スヘシ

一 歳入徴收簿

二 歳入徴收明細簿

第十九條 收入官吏ハ現金出納簿ヲ設備スヘシ

第三章 歳出

第二十條 仕拂命令官歳出ヲ支出セムトスルトキハ會計規則第四章ノ規定ニ從ヒ仕拂命令ヲ發ス

仕拂命令官ハ明治四十三年十月大藏省令第四十四號朝鮮總督府通信官署現金受拂規則第一條ニ依リ歳出金繰替拂置票ヲ發シ郵便官署ノ出納官吏又ハ出納員ヲシテ現金ノ繰替拂渡シ爲サレムルコトヲ得

第二十一條 通信局長官ハ航路標識管理所長、觀測所長、郵便爲替貯金管理所長、光濟丸船長及郵便局長ニ對シ定額豫算ヲ通達シ前條第二項ノ規定ニ依リ繰替拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條 仕拂命令發行ニ關スル手續記職例等ハ明治二十三年七月大藏省令第十七號、明治二十年十一月十一日大藏省令第三十二號及同年十一月十一日大藏省訓令第四十號ニ依ルヘシ但シ繰替拂ニ對スル代リ金拂込ノ爲ニ發スル仕拂命令ニハ振替ノ印ヲ捺捺スヘシ

第二十三條 豫備金ノ支出ヲ要スル場合ニ於テハ仕拂命令官ハ金額及事由ヲ記載シタル計算書ヲ作り請求ヲ爲スヘシ

第二十四條 仕拂命令官仕拂命令又ハ集合仕拂命令ヲ發行シタル後科目(項)又ハ年度ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ科目又ハ年度訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日限トス

第二十五條 仕拂命令官會計法第二十三條ニ依リ歳入ニ納付シ又ハ定額ニ戻入ヲ爲サトスルトキハ明治二十二年十月十二日大藏省令第十六號ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

歳出金ノ過誤拂金ニシテ繰替拂ニ依リ仕拂ヲ爲シタルモノナルトキハ郵便官署ノ出納官吏又ハ出納員ヲシテ其ノ返戻金ヲ領收セシムルコトヲ得

前項ニ依リ郵便官署ノ出納官吏又ハ出納員ノ領收シタル返納金ニシテ第一項ニ依リ處理ヲ要スルモノナルトキハ郵便爲替貯金管理所又ハ郵便官署ノ出納官吏ヲシテ之ヲ納付セシムヘシ

第二十六條 前條第一項及第三項ニ依リ發行シタル返納告知書ニシテ翌年度五月三十一日ヲ過キ定額ニ戻入セサルモノアルトキハ之ヲ歳入ニ納付スヘキ年度、科目、歳入徵收官ノ官氏名等ヲ關係金庫ニ通知シ同時ニ歳入ニ編入方ヲ歳入徵收官ニ通知スヘシ

第二十七條 會計規則第三十五條但書ニ依リ金庫ニ送付シタル仕拂命令ニシテ受取人ニ現金交付前過誤拂ニ出テタルコトヲ發見シタルトキハ明治二十三年十月大藏省令第二十七號ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二十八條 仕拂命令官交送シタルトキハ印鑑ヲ關製シ之ヲ關係金庫ニ送付スヘシ

第二十九條 仕拂命令官ハ毎月仕拂命令濟額報告書ヲ關製シ翌月五日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第三十條 仕拂命令官ハ毎年度經費決算報告書ヲ關製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第三十一條 仕拂命令官ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ仕拂計算書及附憑書類ノ下檢査ヲ選ケ下檢査書ヲ添ヘ速ニ之ヲ提出スヘシ

第三十二條 仕拂命令官ハ明治三十一年五月會計檢査院連第一號支出證明規程ニ依リ毎月支出計算書ヲ關製シ附憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ提出スヘシ

第三十三條 現金前渡ヲ受ケル官吏ハ明治三十三年五月會計檢査院連第二號仕拂證明規程ニ依リ仕拂計算書ヲ關製シ附憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ之ヲ仕拂命令官ニ提出スヘシ

第三十四條 仕拂命令官ハ左ノ帳簿ヲ設備スヘシ  
一 經費整理簿  
二 概算渡金前渡金整理簿

第三十五條 現金前渡ヲ受ケル官吏ハ現金出納簿ヲ設備スヘシ

第四章 工事及物件ノ買賣貸借  
第三十六條 通信局長官ハ其ノ所管ニ屬スル工事及物件ノ買賣貸借ヲ執行スヘシ

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十五號 朝鮮總督府通信官會計事務章程





明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十五號 朝鮮總督府通信官會計事務章程

(款)	
(項)	
(目)	
(節)	

右提出候也

年月日

政務總監宛

官氏名印

書式第二號

明治 年度(經常)部豫算流用増減報告書	
科 目	元豫算額 流用増額 流用減額 現豫算額 事由
款	
項	
目	

右及報告候也

年月日

政務總監宛

長官名印

書式第三號

明治 年度(臨時)部豫算節新設(改廢)報告書	
款	項 目 新設(改廢)節 事由

右及報告候也

年月日

政務總監宛

長官名印

書式第四號ノ甲

何年度歳入増減計算書

記號例 (△印ハ未審スヘシ)

科 目	豫算額	調定済額	收入済額	不損額	納付額	至年度へ繰越額	翌年度へ繰越額	繰入経常部	(款)何	(項)何	(目)何

備考 改節ノ場合ハ元節ヲ廢止シ改正節ヲ未審スルモノトス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十五號 朝鮮總督府通信官會計事務章程

書式第四號ノ乙

何年度歳入増減計算書内譯

科 目	本年度		前年度		本年度		前年度		本年度		前年度	
	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度
經常部計												
歳入臨時部												
(款)何												
以下經常部ニ致ス												
合計												

書式第四號ノ丙

何年度歳入増減事由表

科 目	本年度		前年度		本年度		前年度		本年度		前年度	
	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度	調定額	前年度
歳入經常部												
(款)何												
(項)何												
(目)何												
以下此例ニ依テ												

(項)  
(目)

減	前年度		本年度		何何ノ爲
	調定額	前年度	調定額	前年度	
不納賦損額					何何ノ爲
繰越年度					何何ノ爲
如					何何ノ爲
調定未済額					何何ノ爲
計					計

以下各目此例ニ依テ

- 備考
- 一 既往年度分調定セシハ何何ニ由ル
  - 一 調定内過誤納額ハ何何ニ由ル
  - 一 調定外過誤納額ハ何何ニ由ル
  - 一 過誤納外ノ下戻相當額ハ何何ニ由ル
  - 一 不納賦損額ハ何何ニ由ル
  - 一 調定未済額ハ何何ニ由ル
- 調製備考
- 増減ノ間中何何ノ爲減成ハ何何ノ爲増トアルモノハ増減ノ一種類毎ニ各別ニ掲記





郵便爲替貯金管理所  
光濟丸

主任官

主計課長

管理事務分掌郵便局

主任官

會計事務ニ從事スル首席官吏

通信局長官ノ指定スル郵便局

主任官

局長

第六條 物品會計官吏ノ下ニ物品保管主任ヲ置ク其ノ配置任命及所屬ハ左ノ區分ニ依ル

必要ニ應シ長官之ヲ命免スヘシ

航路標識管理所(各地航路標識ヲ含ム)

同

觀測所(各地測候所ヲ含ム)

同

郵便爲替貯金管理所

同

光濟丸

同

管理事務分掌郵便局

同

通信局長官ノ指定スル郵便局

同

其ノ他ノ郵便局所

同

第七條 物品會計官吏死亡轉免若ハ休職ノ場合ニ於テハ後任者著任迄ノ期間ヲ區切り前任者ノ本職ヲ代テ執行スル官吏ニ辭令ヲ須ヒス代理官ヲ命ス  
物品會計官吏轉任ノ場合ニ於テ從前ノ通事務取扱ヲ命セラレタル者ハ後任者著任ノ當日迄ヲ限リ物品會計官吏ノ職務ヲ繼續セシム此ノ場合ニ於テハ後任者ハ共ノ著任當日ヲ以テ物品會計官吏ヲ命セラレタルモノトス

第三章 出納

第八條 物品出納科目ハ左ノ如シ

一 備品及動物

拂出 生産、亡失、毀損、讓渡、保管轉出、不用、出品、給與

納入 買入、生産、讓受、保管轉入、戻入(出品及渡切物)、寄附、收得

二 消耗品及工事材料

拂出 賣拂、消耗、生産、亡失、毀損、讓渡、保管轉出、不用、出品

納入 買入、生産、戻入、讓受、保管轉入、寄附、收得

三 不用物品

拂出 賣拂、生産、消耗、保管轉出、亡失、棄却

納入 組入、複生、保管轉入

四 雜品

拂出 賣拂、亡失、毀損、生産、消耗

納入 收得

五 保管ニ屬スル物品

拂出 還付、寄託、賣拂、亡失、毀損、國庫歸屬

納入 受託

第九條 物品ノ出納ハ命令書ニ依リ之ヲ執行スヘシ但シ受入ノ場合ニ於テハ假ニ現品ヲ受領シタル後之ヲ執行スルコトヲ得

亡失、毀損、棄却、讓受、讓渡、出品、戻入、給與、不用、寄附、賣拂、組入、複生、收得ノ場合及保管ニ屬スル物品ノ出納ニ付テハ各其ノ證據書類ヲ當該命令書ニ添附スヘシ

第一項ノ命令書ハ帳簿又ハ關係書類ヲ以テ之ヲ代用スルコトヲ得

第十條 物品會計官吏前條ノ命令ニ依リ物品ノ受入ヲ爲シタルトキハ受領證ヲ發シ其ノ拂出ヲ爲シタルトキハ受領證ヲ徵スヘシ

シタルトキハ受領證ヲ徵スヘシ

保管ニ屬スル物品ノ受入ヲ爲シタルトキハ保管證ヲ發シ其ノ還付ヲ爲シタルトキハ受領證ヲ發スヘシ但シ保管證書ヲ還付セシメ受領證ヲ發セサルコトヲ得

第十一條 供用物品ハ物品保管主任ニ交付スヘシ但シ物品保管主任ヲ置カサルトキハ直接使用者ニ交付スルコトヲ得

前項物品中備品及動物ノ受拂ハ請求書又ハ返納證ニ依リ之ヲ執行スヘシ

第十二條 電信電話用工事材料ハ假拂ヲ以テ物品保管主任ニ交付スヘシ

前項ニ依リ假拂ヲ受ケタル物品保管主任ハ該物品中改修築及新增設用ノ工事材料ハ工事終了毎ニ(繰越工事)其ノ他ハ毎月一回以上精算報告書ヲ作成シ尙當該工事ニ伴フ撤去品アルトキハ同報告書ニ請求書ヲ添ヘ之ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ

物品會計官吏ハ前項ノ報告書ニ依リ受拂ノ手續ヲ執行スヘシ此ノ場合ニ於テハ拂出ニ對スル領收證ハ當該報告書ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第十三條 毀損又ハ不用ノ科目ヲ以テ拂出シタル物品ハ直ニ之ヲ不用物品ニ組入ルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ物品ノ品質ニ依リ適宜品名、單位、數量ノ稱呼ヲ變更組入ルルコトヲ得他ノ物品ヨリ複生シタル不用物品ニ付亦同シ但シ物品保管主任ニ於テハ保管物品整理簿ニ登記シタル後之ヲ物品會計官吏ニ送付スヘシ

第十四條 保管及責任

第十四條 第十一條ニ依リ交付シタル物品ハ物品保管主任ヲ置ク部局ニ在リテハ同主任ヲシテ保管セシム但シ專用ニ屬スルモノハ專用者ヲシテ保管セシムルコトヲ得

第十二條ノ假拂物品並撤去品ハ之ヲ使用スル迄ノ期間物品保管主任ヲシテ保管セシム

第十三條第二項ノ不用物品ハ物品會計官吏ニ送付スル迄ノ期間物品保管主任ヲシテ保管セシム第十五條 前條ニ依リ物品保管ノ責アル者ニシテ故意又ハ怠慢ニ因リ物品ヲ亡失又ハ毀損セシム

タルトキハ相當代價ヲ辨償スヘシ

前項ノ規定ハ直接保管ノ責ナキ者ニ亦之ヲ適用ス

第十六條 保管物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ當該保管者ハ遲滞ナク其ノ事實ヲ詳具シ之ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第十七條 物品會計官吏前條ノ報告ヲ受ケ又ハ自己ノ保管スル物品ヲ亡失若ハ毀損セシメタルトキハ其ノ事實及價格ヲ詳具シ部局長ニ之カ認定ヲ求ムヘシ但シ部局長ニシテ物品會計官吏ナルトキハ當該部局勤務ノ他ノ吏員ニ之カ認定ヲ求ムヘシ

第十八條 前條ニ依リ認定ノ請求ヲ受ケタル者ハ其ノ事實ヲ審査シ亡失物品ノ相當代價又ハ毀損修繕費ノ五十圓未滿ニシテ故意又ハ怠慢ニ起因セサルモノハ辨償ノ責ナキモノト認定シ其ノ五十圓以上ナルモノ若ハ故意又ハ怠慢ニ起因セルモノハ其ノ事實ヲ詳具シ通信局長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第五章 帳簿

第十九條 物品出納簿ハ第三條ノ區分ニ依リ品目毎ニ登記スヘシ

第二十條 物品會計官吏ハ供用ノ備品及動物ヲ整理スル爲相補助簿ヲ設ケ其ノ受拂ヲ登記スヘシ

第二十一條 物品保管主任ハ保管物品整理簿ヲ備ヘ自己ノ保管スル物品ノ受拂ヲ登記スヘシ

第二十二條 部局長ハ三年毎ニ當該年度ニ於テ部下ノ官吏ニ物品會計規則第十條ノ二ニ依リ検査官吏ヲ命シ物品會計官吏ノ保管スル物品全部ノ検査ヲ執行セシムヘシ

前項ニ依リ検査ヲ爲シタル官吏ハ検査調査ヲ作成シ之ヲ部局長ニ提出スヘシ

部局長ハ検査調査ヲ受ケタルトキハ査閱ノ上意見ヲ具シ之ヲ通信局長官ニ提出スヘシ

第七章 證明

第二十三條 出納計算書ハ物品會計規則第十五條第一項ニ依ルモノハ年度經過後二月以内ニ同條第二項ニ依ルモノハ交替後二月以内ニ之ヲ部局長ニ提出スヘシ但シ部局長ニシテ物品會計官吏タル者ノ出納計算書ニハ其ノ局勤務ノ首席吏員ニ於テ計算書ト帳簿トノ符合及現在品ヲ認メタル保證書ヲ添附シ之ヲ通信局長官ニ臨時現金前渡官吏ニシテ物品會計官吏タル者ハ之ヲ其ノ所屬部局長ニ提出スヘシ

物品會計官吏交替ノ場合ニ於ケル出納計算書ハ各其ノ取扱期間ヲ附記シ一年度ヲ通シテ總括ヲ以テ證明スルコトヲ得

第二十四條 分任官ハ年度經過後又ハ交替後十五日以内ニ前條ノ例ニ準シ其ノ執行シタル出納ノ結果ニ依リ調査ヲ作成シテ主任物品會計官吏ニ報告スヘシ  
主任物品會計官吏前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ自己ノ出納計算ニ併算證明スヘシ但シ其ノ報告書ヲ添附シ併算ヲ省略スルコトヲ得

第八章 下検査

第二十五條 通信局長官ハ第二十三條ノ規定ニ依リ物品出納計算書ヲ受ケタルトキハ其ノ委託検査ニ屬スルモノヲ除クノ外之カ下検査ヲ爲シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ  
委託検査ニ屬スルモノハ直ニ其ノ検査ヲ執行スヘシ此ノ場合ニ在リテハ下検査書ヲ作成ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條 部局長ハ第二十三條ノ規定ニ依リ物品出納計算書ヲ受ケタルトキハ直ニ下検査ヲ爲シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ通信局長官ニ提出スヘシ

第二十七條 通信局長官ハ前條ノ規定ニ依リ物品出納計算書及下検査書ヲ受ケタルトキハ其ノ委託検査ニ屬スルモノハ直ニ之カ検査ヲ執行シ委託検査ニ屬セサルモノハ相當ノ調査ヲ爲シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第二十八條 下検査ヲ爲ス官吏ハ部下ノ官吏ヲシテ物品會計官吏ノ保管スル物品ノ現在高ヲ調査セシメ其ノ成敗ニ依リ下検査書ヲ作成スヘシ但シ部局長ニシテ物品會計官吏タルモノノ出納計算書ニ對シテハ其ノ保證書ニ依リ下検査書ヲ作成スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府通信官署物品出納規程様式

目次

第一號様式	物品納入命令書
第二號様式	物品拂出命令書
第三號様式	物品請求書
第四號様式	物品返納書
第五號様式	物品整理命令書
第六號様式	假拂物品精算報告書
第七號様式甲	物品出納簿
同 乙	同
同 丙	同
第八號様式	保管物品整理簿



第一號樣式

年度		科目		品目		数量		金額	
事由	第	科目	品目	單位	數量	單位	金額	納先	(何局)
命令官	印行發令命	計物品會	印行輸入納	物品出納簿登記					

備考

一 本署ハ物品納入ノ場合ニ使用スヘシ  
 二 本署ハ一品一葉毎ニ發シヘシ但シ便宜ト認ムルトキハ式紙ヲ定メ連記ト爲スコトヲ得  
 三 式紙帳簿ノ類ニシテ整理番號アルモノハ其ノ番號ノミヲ記シシテ名簿ヲ具ニスルモノハ番號及名稱トモ記シテ  
 四 科目欄ハ規程第八條ノ種別ニ依リ記シスヘシ  
 五 不用物品、雜品及保管ニ屬スル物品ニハ價格ノ記入ヲ省略スルヲ得  
 六 摘要欄ハ買入又ハ生産ノ場合ハ注文傳票記號番號ヲ、賣入ノ場合ハ其ノ番號ヲ記シスヘシ  
 七 奉由欄ハ納入ノ理由並ニ依リ受入ルル場合ハ其ノ番號ヲ記シスヘシ  
 八 生産受入ノ場合ハ物品ノ原料並ニ工料ノ單價合價ヲ奉由欄ニ記シスヘシ  
 九 保管轉換又ハ戻入ニ係ル物品ニシテ不適用ノモノアラバタルトキハ奉由欄ニ不適用ト記シスヘシ  
 十 集合ノ命令ヲ發行スルトキハ其ノ納先數額、價格ヲ詳記シタル内附書ヲ添付スヘシ

第二號樣式

年度		科目		品目		数量		金額	
事由	第	科目	品目	單位	數量	單位	金額	納先	(何局)
命令官	印行發令命	計物品會	印行輸出	物品出納簿登記					

備考

一 本署ハ物品輸出ノ場合ニ使用スヘシ  
 二 消耗品出納簿ニ對シテハ價格ノ記入ヲ省略スヘシ  
 三 第一號樣式備考第二、三、四、五、七、一〇項ハ本書ニモ適用ス

第四號樣式

備考  
一 本書ハ備品動物及第十二條ノ假拂ヲ爲ス物品請求ノ場合ニ使用スヘシ  
二 第一號樣式備考第二、第七項ハ本書ニモ適用ス

年度	種目	物品			返納			納書		
		命令官	印行役令	計物品會	印行執	物品委託	返納先	物品委託	返納年月日	
		第	目	ノ單位	數	量	物品委託	返納先	返納年月日	
		由	事						明治年月日返納	

第五號樣式

備考  
一 本書ハ備品動物及第十二條ノ假拂物品返納ノ場合ニ使用スヘシ  
二 返納品中不完全ナルモノアルトキハ事由欄ニ不適用ト明記スヘシ但シ該物品ニ對シテハ假拂報告書ヲ提出シタル年月日ヲモ記載スヘシ  
三 第一號樣式備考第二、第七項ハ本書ニモ適用ス

年度	種目	物品			返納			納書		
		命令官	印行役令	計物品會	印行執	物品委託	返納先	物品委託	返納年月日	
		第	目	ノ單位	數	量	物品委託	返納先	返納年月日	
		由	事						明治年月日返納	

第六號樣式

備考  
一 本書ハ更正、練習、組替ノ場合ニ使用スヘシ  
二 更正練習、組替ノ場合ハ在來ノ種類品目、數量價格ヲ事由欄ニ又更正、練習、組替ノ種類品目、數量價格ヲ各相當欄ニ記載スヘシ  
三 事由欄ニハ前項ノ外其ノ理由ヲ記載スヘシ  
四 第一號樣式備考第一、第二項ハ本書ニモ適用ス

年度	種目	假拂物品精算報告書			假拂物品精算報告書			
		命令官	印行役令	計物品會	印行執	物品委託	返納先	
		第	目	ノ單位	數	量	物品委託	返納先
		由	事					明治年月日返納

備考  
一 本書ハ假拂物品精算ノ場合ニ使用スヘシ  
物品保管主任 何 某

第七號樣式甲

- 一 工事材料ハ(一)尋常保守(二)修繕(三)改築(四)新設(五)増設ニ區分シ會社等以下ニ在リハ一工事毎ニ區分スヘシ
- 二 尋常保守ニ屬スルモノハ毎月一回一箇月分ツテ取繕シ其ノ他ハ工事竣工ノ場合ニ於テ報告スヘシ
- 三 撤去品受採ノ欄ハ工事材料品ノミ記載スヘシ

明治 年度

---

何 何 (物品種類)

---

物 品 出 納 簿

---

何 局

(索引ノ例二)  
何 何 (物品種類)

品 目	單位ノ稱	記入頁數	品 目	單位ノ稱	記入頁數	品 目	單位ノ稱	記入頁數
何 何	箇	1						

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通達官署物品出納規程

單 位 / 稱												備 考
拂 出 高						殘 高						
消 耗		保管轉出		雜 部		合 計		數 量		代 價		
数量	代價	数量	代價	数量	代價	数量	代價	使用	不適用	数量	代價	
								5	95	100	150000	
		70	105000					6	145	15	165	225000
				10	10000			5	75	5	85	110000
								8	72	5	85	110000
								8	122	5	135	175000
10								8	127		135	175000
								8	117		125	
								8	122		130	171500
								8	102		110	145500
								8	122		130	171500
10	10000	70	105000	10	10000	90	125000					
10	10000	70	105000	10	10000	90	125000					

三三三

(索引ノ例一)  
物品會計官吏官氏名並就職及解職年月日

物品會計官吏官氏名	就職年月日	解職年月日

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通達官署物品出納規程

三三三

品目	単價	受入				合計	
		越 高		買 入		数量	代價
		数量	代價	数量	代價		
(前年度ヨリ)(前年度ヨリ) 越 高 (前年度ヨリ) 別表	1500	100	150000				
何誰ヨリ買入	1200			50	60000		
何局ヨリ轉入但シ不適用品	1000					15	15000
何局ニ送付	1500						
何所何誰ノ分取損拂	1000						
何所何誰ヘ交付但シ三箇	1300					50	65000
何所何誰ヨリ返納	1800					5	6500
何所何誰ニヨリ返納	1800	20	26000				
何所何誰ニヨリ返納	1300	20	26000				
積 集 - 送 高		100	150000	50	60000	70	86500
合 計		100	150000	50	60000	70	86500

備考  
 一 本簿ハ朝鮮總督府通信官事務物品出納規程ノ所屬ニシテ、郵便局、電信局、電話局、光復丸及官署事務分掌郵便局長任物品會計官吏之ヲ使用シ規程第三條ノ項目ニ依リ區別整理スヘシ但シ品目僅少ナルトキハ各種目ヲ通シ合算ヲ以テ整理スルコトヲ得  
 二 別ニ番號及品目ヲ記載スヘシ  
 三 口座ハ一品目毎ニ之ヲ設クヘシ但シ同一品目ニシテ單位ノ稱ヲ異ニスルモノハ各別ニ設ケルモノトス  
 四 式紙帳簿ノ類ニシテ整理番號アルモノハ其ノ番號及名稱トモ記載スヘシ  
 五 物品保管主任又ハ專用者ニ備品又ハ動物ヲ交付シ若ハ其ノ返付ヲ受ケタルトキハ摘要欄ニ理由並數量ヲ記載シ得  
 六 高欄相當ノ區ニ於テテ其ノ數量ヲ加除記載スヘシ  
 七 適用品ヲ不適用品ニ又ハ不適用品ヲ適用品ニ組替タルトキハ摘要欄ニ其ノ理由並數量ヲ記載シ得高欄相當ノ區ニ於テテ其ノ數量ヲ加除記載スヘシ  
 八 雜部欄科目ノ區ニハ規程第八條ノ科目中本簿ニ設ケナキモノ假令ハ生産、戻入等ニ屬スルモノヲ記載スヘシ  
 九 合計欄ニハ追次繰越、年度結切若ハ物品會計官吏交替ノ場合ニ限リ其ノ數量代價ヲ記載スヘシ  
 十 本簿ハ一葉毎ニ最終記載ノ下ニ二野ヲ劃シ其ノ中央ニ一線ヲ橫置シ追次繰高ヲ記載シ次葉ニ送ルヘシ但シ更正等ノ爲メ控除スルモノアルトキハ次葉ヘ繰越ノ際三野ヲ殘シ一旦計ヲ爲シ次ニ其ノ控除高ヲ末葉ニ送リ而シテ合計ヲ記載シ次葉ヘ送ルヘシ  
 十一 全年度ノ帳簿ヲ終レハ原簿ヲ横置シ合計ヲ掲ケ其ノ下ニ二線ヲ橫置スヘシ  
 十二 物品會計官吏交替ノ場合ニ於テハ摘要欄中、越 高、トアルヲ、前任者ヨリ引受高トシ備考欄中、繰高次年度ヘ送ルトアルヲ、後任者(引繼者)トシ其ノ前任者ノ取扱帳簿合計記載スヘシ而シテ年度末ニ至レハ後任者ノ取扱高ト合計記載シタル上ニ更ニ全年度ノ總計ヲ前項ノ例ニ依リ記載スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ繰高欄ニハ前年度ヨリ繰越高ノミヲ記載スヘシ  
 十三 保管轉出、消耗等ノ爲メ拂出シタルモノニシテ運送途中事故ノ爲メ其ノ數量少ク更正シタルトキハ其ノ更正年月日、理由、番號、理由、數量等ヲ備考欄ニ記載スヘシ  
 十四 備考欄ニハ前各項ノ外總テ他日参照ニ資スヘキ事項ヲ記載スヘシ  
 十五 本簿ハ改換捺印ヲ許サズ若シ誤字ヲ訂正スヘキトキハ二線ヲ重シ其ノ上部ニ改書スヘシ  
 十六 庶務掛、數量代價ノ誤記ヲ訂正スルトキハ假令其ノ誤謬ノ一部ニ止マルモノト雖全部ニ對シ前項ノ例ニ依リ訂正スヘシ

一 本簿ハ朝鮮總督府通信官事務物品出納規程ノ所屬ニシテ、郵便局、電信局、電話局、光復丸及官署事務分掌郵便局長任物品會計官吏之ヲ使用シ規程第三條ノ項目ニ依リ區別整理スヘシ但シ品目僅少ナルトキハ各種目ヲ通シ合算ヲ以テ整理スルコトヲ得  
 二 別ニ番號及品目ヲ記載スヘシ  
 三 口座ハ一品目毎ニ之ヲ設クヘシ但シ同一品目ニシテ單位ノ稱ヲ異ニスルモノハ各別ニ設ケルモノトス  
 四 式紙帳簿ノ類ニシテ整理番號アルモノハ其ノ番號及名稱トモ記載スヘシ  
 五 物品保管主任又ハ專用者ニ備品又ハ動物ヲ交付シ若ハ其ノ返付ヲ受ケタルトキハ摘要欄ニ理由並數量ヲ記載シ得  
 六 高欄相當ノ區ニ於テテ其ノ數量ヲ加除記載スヘシ  
 七 適用品ヲ不適用品ニ又ハ不適用品ヲ適用品ニ組替タルトキハ摘要欄ニ其ノ理由並數量ヲ記載シ得高欄相當ノ區ニ於テテ其ノ數量ヲ加除記載スヘシ  
 八 雜部欄科目ノ區ニハ規程第八條ノ科目中本簿ニ設ケナキモノ假令ハ生産、戻入等ニ屬スルモノヲ記載スヘシ  
 九 合計欄ニハ追次繰越、年度結切若ハ物品會計官吏交替ノ場合ニ限リ其ノ數量代價ヲ記載スヘシ  
 十 本簿ハ一葉毎ニ最終記載ノ下ニ二野ヲ劃シ其ノ中央ニ一線ヲ橫置シ追次繰高ヲ記載シ次葉ニ送ルヘシ但シ更正等ノ爲メ控除スルモノアルトキハ次葉ヘ繰越ノ際三野ヲ殘シ一旦計ヲ爲シ次ニ其ノ控除高ヲ末葉ニ送リ而シテ合計ヲ記載シ次葉ヘ送ルヘシ  
 十一 全年度ノ帳簿ヲ終レハ原簿ヲ横置シ合計ヲ掲ケ其ノ下ニ二線ヲ橫置スヘシ  
 十二 物品會計官吏交替ノ場合ニ於テハ摘要欄中、越 高、トアルヲ、前任者ヨリ引受高トシ備考欄中、繰高次年度ヘ送ルトアルヲ、後任者(引繼者)トシ其ノ前任者ノ取扱帳簿合計記載スヘシ而シテ年度末ニ至レハ後任者ノ取扱高ト合計記載シタル上ニ更ニ全年度ノ總計ヲ前項ノ例ニ依リ記載スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ繰高欄ニハ前年度ヨリ繰越高ノミヲ記載スヘシ  
 十三 保管轉出、消耗等ノ爲メ拂出シタルモノニシテ運送途中事故ノ爲メ其ノ數量少ク更正シタルトキハ其ノ更正年月日、理由、番號、理由、數量等ヲ備考欄ニ記載スヘシ  
 十四 備考欄ニハ前各項ノ外總テ他日参照ニ資スヘキ事項ヲ記載スヘシ  
 十五 本簿ハ改換捺印ヲ許サズ若シ誤字ヲ訂正スヘキトキハ二線ヲ重シ其ノ上部ニ改書スヘシ  
 十六 庶務掛、數量代價ノ誤記ヲ訂正スルトキハ假令其ノ誤謬ノ一部ニ止マルモノト雖全部ニ對シ前項ノ例ニ依リ訂正スヘシ

第七號樣式乙

十五 平均使用ノ其ノ消耗額トモトモノ代價ヲ算定スルコトヲ得  
 十六 平均使用ノ其ノ消耗額トモトモノ代價ヲ算定スルコトヲ得  
 十七 平均使用ノ其ノ消耗額トモトモノ代價ヲ算定スルコトヲ得  
 十八 平均使用ノ其ノ消耗額トモトモノ代價ヲ算定スルコトヲ得  
 十九 平均使用ノ其ノ消耗額トモトモノ代價ヲ算定スルコトヲ得  
 品目ノ口座上ノ之ニ在ル者ハ其ノ品目ノ口座上ノ之ニ在ル者トシテ  
 品目ノ口座上ノ之ニ在ル者ハ其ノ品目ノ口座上ノ之ニ在ル者トシテ  
 品目ノ口座上ノ之ニ在ル者ハ其ノ品目ノ口座上ノ之ニ在ル者トシテ  
 品目ノ口座上ノ之ニ在ル者ハ其ノ品目ノ口座上ノ之ニ在ル者トシテ  
 品目ノ口座上ノ之ニ在ル者ハ其ノ品目ノ口座上ノ之ニ在ル者トシテ

明治 年度

何 何 (物品種類)

物 品 出 納 簿

何 局

單位ノ稱

拂出高		殘高				備考	
科目	數量	代價	數量				代價
			供用	在	合計		
			座用	不座用			

外甲表樣式ニ依ルコトヲ得

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通信官事務物品出納規程

第七號樣式丙

明 治 年 度  
何 何 (物品種類)  
物 品 出 納 簿  
  
何 局

三四一

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通信官事務物品出納規程

品 目										
年 月 日	証 憑 號 受 拂	備 考	單 價		越 高		受 入 高			
			円	角	数量	代 價	科目	数量	代 價	円

- 備 考
- 一 本簿ハ別ニ指定スル郵便局物品會計官吏之ヲ使用スヘシ
  - 二 索引ノ例ハ甲號樣式ニ依ル
  - 三 甲號樣式第六項及第七項ヲ除ク外本簿ニモ適用ス
  - 四 備品及動物ニ對スル殘高數量ノ内課ヲ補助簿ニ依リ整理スル場合ノ

三四〇

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通信官事務用品出納規程

第八號様式

ノ稱	備考	品 目						
		年月日	憑證番號 受拂	摘要	単價	数量	代價	受 科目
		41		前年度繰高	100.0	500	500.00.0	
		2	1	何誰ヨリ買入	100.0			買入 保管
		3	2	何局ヨリ轉入	100.0			買入 保管
		4	3	主任官ヨリ受入	100.0			買入 保管
		5	1	何某交付何何工 事用				
		6	2	何某精算何何工 報告何何工事用	100.0			戻入
		7	3	何某交付何何工 事用				
		7	4	何某ヨリ返納何 何工事用				
				繰入		500	500.00.0	
				合計		500	500.00.0	

- 備考
- 一 規程第十二條ニ依リ假拂ヲ爲ス物品ニ對シテ
  - 二 索引ノ例ハ甲號様式ニ依ル
  - 三 甲號様式備考ニ掲記シタル事項ニシテ本様式

單位ノ稱										
入 高		假拂高		拂出高		残 高			備 考	
数量	代價	交付 數量	返納 數量	科目	數量	代價	假 中	在 庫 高	計	代價
100	100.00.0							500	500	500.00.0
100	100.00.0							600	600	600.00.0
100	100.00.0							700	700	700.00.0
100	100.00.0							800	800	800.00.0
100	100.00.0	300						300	500	800.00.0
100	100.00.0			消耗	200					
		100						200	500	700.00.0
		200						700	700	700.00.0
400	400.00.0	200			200	200.00.0				
400	400.00.0	200			200	200.00.0				

- 備考
- ハ本様式使用スヘシ
  - ニ適用シ得ヘキ事項ハ總テ之ヲ適用ス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十六號 朝鮮總督府通信官事務用品出納規程



保管物品整理簿 單位

年月日	摘要	物品番號	受	拂	現在
明治44年4月	物品會計官吏ヨリ	1	1		1
	何局ヨリ	2	1		2
	物品會計官吏ヨリ	3	1		3
	同	4	1		4
	何課何某ヨリ轉換	5	1		5
	物品會計官吏へ	1		1	4
	何局へ	2		1	3
	何課何誰へ轉換	3		1	2

(本簿記例ハ物品ノ分ノ示セリ其他ノ物品ハ之ニ準スヘシ)

備考

- 一 本簿ハ規程第二十一條ニ依リ設備スヘシ
- 二 口座ハ一品目毎ニ之ヲ設ケル
- 三 摘要欄ニハ受拂ノ事由ヲ記載スヘシ
- 四 本簿ハ改換塗抹ヲ許サズ若シ誤字ヲ訂正スルトキハ二線ヲ畫シ其ノ上部ニ改書スヘシ
- 五 物品保管主任交替ノ場合ハ一品目毎ニ備簿ニ「何月何日何課へ引繼」ト記載シ前後主任之ニ調印シ二部ヲ殘シテ後任者ニ於テ記載スヘシ但シ數量ハ前任者取扱ノ分ヲ通算スヘシ
- 六 工率材料及消耗品ハ現品受領者ヲシテ拂出欄ニ調印セシムヘシ
- 七 規程第十二條第二項ノ物品ハ繰出經常部及臨時部ニ分チ尙ホ臨時部ハ各工事別ニ口座ヲ設ケヘシ但シ各別所ヲ以テ整理スルコトヲ得

○朝鮮總督府訓令第二十七號(官報四月十五日)

朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納規程左ノ通定ス

明治四十四年四月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納規程

- 第一條 本令ニ於テ部局ト稱スルハ通信局及郵便局ヲ謂フ
- 第二條 郵便切手類及收入印紙ノ出納保管ハ切手類會計官吏ヲシテ之ヲ取扱ハシム
- 第三條 切手類會計官吏ノ配置及任命ハ特ニ命スルモノヲ除クノ外左ノ區分ニ依ル
  - 朝鮮總督府通信局 主任官
  - 管理事務分掌郵便局 主任官
  - 通信局長官ノ指定スル郵便局 主任官
  - 前二號以外ノ郵便局 主任官
- 第四條 郵便切手類及收入印紙ノ出納科目ハ左ノ如シ但シ見本製造戻入、贈與、返付、部局渡ハ通

信局ニノミ之ヲ適用ス

受ノ部

- 一製造
- 二二元受
- 三返納
- 四買戻
- 五交換
- 六保管轉換
- 七戻入
- 八分任官受
- 九收得
- 十繰替戻戻
- 一部局渡
- 二分任官渡
- 三賣捌
- 四交換
- 五保管轉換
- 六亡失
- 七繰却
- 八返納
- 九還付
- 十還付
- 十一繰替
- 十二見本
- 十三贈與

第五條 郵便切手類及收入印紙ヲ出納セムトスルトキハ命令書ニ依リ之ヲ執行スヘレ但レ受入ノ場合ニ於テハ假ニ現品ヲ受領シタル後之ヲ執行スルコトヲ得

第六條 各郵局ニ於テ窓口賣捌ニ要スル郵便切手類及收入印紙ハ切手類會計官吏ハ其ノ數量ヲ見積リ之ヲ窓口賣捌主任ニ假出シ日日窓口賣捌調査ヲ作成セシメ命令書ニ之ヲ代用整理スヘレ

第七條 切手類會計官吏郵便切手類及收入印紙ノ受入ヲ爲シタルトキハ受領證ヲ發シ其ノ拂出ヲ爲シタルトキハ受領證ヲ撤スヘレ但レ受領證ニ代ルヘキ相當ノ書類アルトキ又ハ國際返信切手券ノ交換拂及窓口賣捌ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第八條 第六條ニ依リ假出シタル郵便切手類及收入印紙ハ窓口賣捌主任之ヲ保管スヘレ

第九條 保管ノ責アル者故意又ハ怠慢ニ因リ郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損セシメタルトキハ其ノ損害ヲ辨償スヘレ

第十條 窓口賣捌主任ニ於テ其ノ保管ニ係ル郵便切手類及收入印紙ヲ亡失又ハ毀損セシメタルトキハ事實ヲ詳具シ之ヲ所屬切手類會計官吏ニ報告スヘレ

第十一條 切手類會計官吏前條ノ報告ヲ受ケ又ハ自己ノ保管スル郵便切手類及收入印紙ヲ亡失若ハ毀損セシメタルトキハ其ノ事實及償額ヲ詳具シ當該部局長ノ認定ヲ求ムヘレ但レ部局長ニテ切手類會計官吏ナルトキハ第三條第三號ノ郵便局長ニ在リテハ其ノ屬勤務ノ他ノ吏員ニ第三條第四號ノ郵便局長ニ在リテハ所轄管理事務分掌郵便局長ノ認定ヲ求ムヘレ

第十二條 前條ノ規定ニ依リ認定ノ請求ヲ受ケタル者ハ其ノ事實ヲ審査シ故意又ハ怠慢ニ起因セサル毀損ニ對シテハ辨償ノ責ナキモノト認定シ其ノ他ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ詳具シ通信局長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十三條 朝鮮總督府通信官署物品出納規程第四條 第七條 第二十三條乃至第二十八條ノ規定ハ之ヲ郵便切手類及收入印紙ノ出納ニ準用ス

附則

本令ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮總督府通信官署郵便切手類及收入印紙出納規程様式

目次

第一號様式	郵便切手類出納命令書
第二號様式	收入印紙出納命令書
第三號様式	郵便切手類窓口賣捌調査
第四號様式	收入印紙窓口賣捌調査
第五號様式	郵便切手類出納簿(甲)
第六號様式	同



明治四十四年四月 朝令 朝鮮總督府第二十七號 朝鮮總督府通信官者郵便切手額及收入印紙出納帳簿

第三號樣式

種別	年	度	科目	受		出		残高
				前日	本日	前日	本日	
五圓切手								
壹圓切手								
五錢切手								
壹錢切手								
五錢切手								
壹錢切手								
拾圓切手								
拾五錢切手								
貳拾五錢切手								
五拾錢切手								
壹圓切手								
五圓切手								
拾圓切手								
內國郵便切手								
外國郵便切手								
代價合計								
金銀貯金								
金銀貯金								
代價合計								
國際郵便切手								
總計								

全額封紙票額  
郵便切手額  
收入印紙額

窓口賣捌調書  
朝鮮總督府通信官者

明治年月日要拂出  
郵便切手額出納帳簿  
主任  
検査  
切手額會計官吏  
抽出命令第  
命令官

第四號樣式

種別	年	度	科目	受		出		残高
				前日	本日	前日	本日	
五圓切手								
壹圓切手								
五錢切手								
壹錢切手								
五錢切手								
壹錢切手								
拾圓切手								
拾五錢切手								
貳拾五錢切手								
五拾錢切手								
壹圓切手								
五圓切手								
拾圓切手								
內國郵便切手								
外國郵便切手								
代價合計								
金銀貯金								
金銀貯金								
代價合計								
國際郵便切手								
總計								

全額封紙票額  
郵便切手額  
收入印紙額

窓口賣捌調書  
朝鮮總督府通信官者

明治四十四年四月 朝令 朝鮮總督府第二十七號 朝鮮總督府通信官者郵便切手額及收入印紙出納帳簿



明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十七號 朝鮮總督府逓信官署郵便切手類及收入印紙出納規程

第五號樣式

殘高		備考
200,000		後年度送高
198,000		
208,000		
209,050		
209,150		
209,050		
219,050		
218,650		

  

(索引ノ例二) 郵便切手類		
種別	記入頁數	
何切手		1
何(印紙)		2

(收入印紙)		(索引ノ例一) 切手類會
種別	記入頁數	切手類會計官吏氏名

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十七號 朝鮮總督府逓信官署郵便切手類及收入印紙出納規程

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十七號 朝鮮總督府通信官郵便切手類及收入印紙出納規程

郵便切手類 出納簿(乙)  
收入印紙

備考  
一 本簿ハ主任切手類會計官吏之ヲ使用スヘシ  
二 甲種格式備考ハ本簿ニモ之ヲ適用ス

年月日	摘要	証憑 番號	何 何	
			受 元	越 高
明治 4	1 前年度ヨリ越高 (前任者引受高)		200,000	
"	15 何何局渡	1		
"	某外何何渡	2		
"	16 何何局ヨリ受	1	10,000	
"	20 何何局ヨリ受 ノ受戻	2		
"	21 何何局ヨリ受 ノ受戻	3		
"	同上交換簿	3		
四月計			200,000	10,000
5	2 何局ヨリ受	4	10,000	
"	14 何局ヨリ受 ノ受戻	4		
五月計				10,000
後葉へ送高			200,000	20,000
合計			200,000	20,000

郵便切手類 出納簿(甲)  
收入印紙

(切手) (收入印紙)

返納	之 部					計	之 部					計
	買戻 額	交換 額	保 留 額	未 任 官 額	未 任 官 額		定 額	分 額	未 任 官 額	未 任 官 額	未 任 官 額	
						200,000						
						100		1,000				100
						10,000						1,000
150						150						
	100					100						
						210,250	100	1,000	100			1,200
						10,000						400
						10,000						400
150	100					220,250	100	1,000	100			1,600
150	100					220,250	100	1,000	100			1,600

備考  
一 本簿ハ主任切手類會計官吏之ヲ使用スヘシ  
二 切手類會計官吏交替ノトキハ 摘要欄中前任者ニ於テ後年度へ送高トアル  
フ後任者へ引取高ト記載シ後任者ニ於テ前年度ヨリ越高トアルフ前  
任者ヨリ引受高ト記載スヘシ  
三 切手類會計官吏月ノ中ニ於テ交替シタルトキハ月計ノ別送方ハ前任者ハ自  
己取扱額ノ集計ニ何月分小計ト記載シ後任者ハ自己取扱額ヲ集計シテ何月  
分小計ト記載シ尙相互ノ小計ヲ合セテ全月ノ合計ヲ記載スヘシ  
四 後葉へ送高ハ自己取扱額ノミヲ漸次追加スヘシ  
五 此ノ帳簿ノ空欄ハ受換科目ニ依リ記載スヘシ





第十條 歳入歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

歳入所屬年度

- 一 納期ノ一定シタル歳入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
- 二 隨時ノ歳入ニシテ告知書ヲ發スルモノハ其ノ之ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 三 隨時ノ歳入ニシテ告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 四 寄附金又ハ國庫補助金ノ類ハ其ノ歳入ヲ豫定シタル年度

歳出ノ所屬年度

- 一 俸給旅費諸手當手數料及人夫賃ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル日ノ屬スル年度
- 二 工事費其ノ他土地物件購入費ノ類ハ工事又ハ土地物件ノ受渡ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ契約履行ノ數年ニ涉ルモノハ毎年度既成部分ニ對スル仕拂金額ヲ以テ其ノ年度ノ所屬トス
- 三 前二號ニ屬セサルモノハ總テ其ノ支給又ハ仕拂ヲ決定シタル日ノ屬スル年度

第二章 豫算

第十二條 豫算ハ別ニ定ムル豫算調製式ニ依リ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部ヲ款、項、目ニ區分スヘシ

第十三條 豫算ハ其ノ算定ノ基礎ヲ明瞭ニシ且説明書ヲ添附スヘシ

第十四條 豫算各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

第十五條 避クヘカラサル豫算超過又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

第十五條 特別會計ニ關スル歳入歳出ハ別ニ其ノ豫算ヲ編成スヘシ

第三章 收入

第十六條 地方費ノ歳入ハ道長官又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏之ヲ徴收スヘシ

第十七條 賦課金以外ノ歳入ハ納入告知書ヲ發行シ徴收スヘシ但シ納入ヲレテ收入官吏ニ即納セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 前條ノ歳入ニシテ納期ノ定メアルモノハ其ノ七日以前、納期ノ定メナキモノハ隨時納期ヲ定メ其ノ都度納入ニ對シ告知書ヲ發スヘシ

第十九條 歳入徴收官ハ納入告知書發行ノ都度之ヲ徴收簿ニ登記スヘシ

第二十條 金庫ハ收入官吏又ハ納入ヨリ收入金ヲ領收シタルトキハ其ノ領收證書ヲ拂込人又ハ納入ニ交付シ領收濟通知書ヲ歳入徴收官ニ送付スヘシ

第二十一條 左ニ掲クル歳入ニ付テハ收入官吏直接ニ現金ヲ收納スルコトヲ得

- 一 授業料手數料及生産物賣却代ノ類
- 二 道金庫ノ設ケナキ地ニ於ケル歳入

第二十二條 收入官吏現金ヲ領收シタルトキハ五日以内ニ現金拂込書ヲ添ヘ道金庫ニ拂込ムヘシ但シ收入官吏道金庫所在地外ニ在ル場合ニ於テハ郵便振替貯金ニ依リ五日以内ニ道金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

前項期間内ニ拂込ヲ爲シ能ハサル地方ニ在リテハ收入官吏ハ豫メ道長官ノ認可ヲ得テ拂込期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二十三條 歳入徴收官ハ毎月收入報告書ヲ調製シ收入金月計表ヲ添附シ翌月十日限り之ヲ道長官ニ提出スヘシ

第四章 支出

第二十四條 道長官ハ所管定額ヲ使用スル爲道金庫ニ對シ支出命令ヲ發行スヘシ但レ他ノ官吏ニ委任シ支出命令ヲ發行セシムルコトヲ得

第二十五條 支出命令ハ債主又ハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス但レ左ノ經費ニ限リ現金仕拂ヲ爲サレムル爲主任者ニ對シ現金前渡ノ支出命令ヲ發行スルコトヲ得

一 道所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル經費但レ各主任者ニ付三百圓迄ヲ限リトス  
二 直營工事及測量費ニ要スル經費但レ各主任者ニ付五百圓迄ヲ限リトス  
前渡金ハ既ニ前渡シタルモノノ仕拂殘額ト更ニ前渡スヘキ金額トヲ合セ前各號ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十六條 左ノ經費ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得  
一 旅費  
二 補助費

第二十七條 左ノ經費ニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得  
一 訴訟費

第二十八條 前金拂ニ非サレハ買入又ハ借入等ノ契約ヲ爲スコト能ハサルモノ  
前支出科目ノ年度番號ヲ記載スヘシ

第二十九條 支出命令ハ通常送金ノ二種ニ分チ通常命令ハ道金庫ニ於テ債主ニ仕拂ヒ送金命令ハ債主ノ住所ニ送金シテ仕拂フモノトス

第三十條 通常支出命令ヲ債主ニ交付スルトキハ領收證書ヲ發シ同時ニ其ノ支出命令案内ヲ道金庫ニ交付スヘシ

第三十一條 送金支出命令ハ道金庫ニ交付シ直ニ債主ニ送金セシメ同時ニ債主ニ對シ送金通知書ヲ發スヘシ

第三十二條 通常支出命令ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ十日トス其ノ期間ヲ經過シタルトキハ債主ハ當該官吏ニ其ノ支出命令ノ再交付ヲ請求スヘシ

第三十三條 支出命令左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道金庫ハ其ノ仕拂ヲ拒ムヘシ  
一 收入金ヲ超過シタルトキ

二 通常支出命令案内ノ到達セサルトキ

三 通常支出命令共ノ案内ト符合セサルトキ又ハ汚損シテ照合シ難キトキ

四 支出命令者ノ印影カ支出命令者ヨリ送付シタル印鑑ニ符合セサルトキ

五 改竄、塗抹其ノ他變更ノ痕跡アルトキ但シ金額ヲ除クノ外更正ノ箇所ニ支出命令者ノ認印アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 支出命令官定額ノ戻入ヲ爲サムトスルトキハ納人ニ對シテ返納告知書ヲ發スヘシ

第三十五條 支出命令ノ發行及定額戻入ヲ爲スハ翌年度五月三十一日限トス

第三十六條 支出命令ヲ發行スル官吏ハ毎月支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ道長官ニ提出スヘシ

第五章 決算

第二十七條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ附スヘシ  
第二十八條 年度經過後ニ至リ歳入ニ不足ヲ生シ歳出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度ノ歳入ヲ

繰上ケ使用スルコトヲ得

第六章 出納官吏

第三十九條 出納官吏ハ道長官之ヲ命スヘシ但シ支出命令ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相兼ヌルコトヲ得ス

第四十條 出納官吏ハ其ノ保管ニ係ル現金ニ對シ一切ノ責任ヲ負擔シ其ノ會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ責任ヲ免カルルコトヲ得ス但シ道長官ノ命令ヲ以テ時ニ其ノ代理者ヲ定メタルトキハ代理者ノ責任トス代理者ハ出納官吏ノ事務ノ全部又ハ一部ヲ代理ス

第四十一條 出納官吏又ハ其ノ代理者ニシテ避クヘカフサル事故ニ因リ保管金ヲ亡失シタルトキハ其ノ事實ヲ證明シ責任解除ノ決定ヲ受クルニ非サレハ責任ヲ免カルルコトヲ得ス

第四十二條 出納官吏交替シタルトキハ交替ノ當日ヲ以テ帳簿ヲ締切リ前任者後任者連署シテ其ノ取扱事務ト保管現金トヲ後任者ニ引繼クヘシ

第四十三條 出納官吏死亡其ノ他ノ事故ニ因リ自ラ引繼ク爲スコト能ハサル場合ニ於テハ道長官ハ他ノ官吏ニ命シ前條ノ手續ヲ爲シムヘシ

第四十四條 收入官吏ハ一年度内ニ執行シタル出納計算書ヲ調製シ證書書類ヲ添へ年度經過後三月内ニ歳入徴收官ヲ經由シテ之ヲ道長官ニ提出スヘシ

第四十五條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ毎月仕拂計算書ヲ調製シ證書書類ヲ添へ支出命令官ノ經由シ之ヲ道長官ニ提出スヘシ

第四十六條 出納官吏交替シタルトキハ前出納官吏ハ其ノ在職中執行シタル會計ノ未證明ノ部分ニ付計算書ヲ調製シ第四十四條第四十五條ノ例ニ準シ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條 道長官ハ出納官吏提出ノ計算書及證書書類ノ下検査ヲ爲スヘシ正當ト認メタルトキハ責任解除ノ決定ヲ爲シ不當ト認メタルトキハ其ノ不當ト認メタル部分ニ付之カ辨償ヲ命スルコトヲ得

第七章 監督

第四十八條 左ニ掲クル事項ハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外地方費ノ負擔ト爲ルヘキ義務ヲ擔任シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト

二 豫算定額内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時借入金ヲ爲スコト但シ道金庫規程第十條ニ依ル借越金ハ此ノ限ニ在ラス

三 翌年度ノ歳入ヲ繰上ケ使用スルコト

四 特別會計ヲ設置スルコト

五 繼續費ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト

六 豫算各項ノ金額ヲ流用スルコト

七 豫算外ノ費途ニ充ツル爲メ準備費ヲ支出スルコト

第八章 金庫

第四十九條 道金庫ハ之ヲ道所在地ニ置ク道金庫ノ事務ハ道所在地農工銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第九章 帳簿様式其ノ他

第五十條 帳簿其ノ他ノ様式ハ第一號乃至第十二號ニ據ル

附則

第五十一條 本令ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス  
第一號様式(用紙適宜 紙面ノ寸法 輪廓ハ取除 輪廓内ノ寸法適宜)

書知告入納

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(郡)	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部		款	項
「何」				「某」納
一金	○取扱主 任印			
右金額明治「何」年「何」月「何」日限「何」金庫ニ納入ス				
明治「何」年「何」月「何」日 「官職」(發行者)「氏」名「姓」				

金庫印

書知通濟收領

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(郡)	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部		款	項
「何」				「某」納
一金	○金庫取扱 主任印			
右領收済ニ付通知候也				
明治「何」年「何」月「何」日 「官職」(發行者)「氏」名「姓」				

金庫印

(告知書裏面)

書 證 收 領

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(郡)	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部		款	項
「何」				「某」納
一金	○金庫取扱 主任印			
右領收済也				
明治「何」年「何」月「何」日 「何」金庫印				

注意 一納入者有違金庫所在地外ニ在ルトキハ郵便傳書貯金ヲ以テ道金庫ニ納入ス  
ルコトヲ得

第二號様式(用紙適宜 紙面ノ寸法 輪廓ハ取除 輪廓内ノ寸法適宜)

書 知 告 納 返

第 號	「何」道金庫	「取扱部」	「何」府(郡)	「何」
「何」年度	歳出經常(臨時)部		款	項
「何」				「某」
一金	○取扱主 任印			
右金額明治「何」年「何」月「何」日限「何」金庫ハ返納ス				
明治「何」年「何」月「何」日 「官職」(發行者)「氏」名「姓」				

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方會計規則

繳收簿						
歲入經常(臨時)部 款項目						
年月日	摘要	課算類	歲入類			
			調定額	收入額	不納缺損額	收入未済額

第三號樣式

書證收領

右領收領也  
明治何年何月何日

一金  
○金庫取扱主任印

第 號 [何] 道 主管 [取扱] [何] 府 [部] 返納入 [何] 項 [某]

[何] 年度 儘出經常(臨時)部 款

金庫 印

書知通濟收領

右返納済ニ付通知候也  
明治何年何月何日

一金  
○金庫取扱主任印

第 號 [何] 道 主管 [取扱] [何] 府 [部] 返納入 [何] 項 [某]

[何] 年度 儘出經常(臨時)部 款

名 殿 [何] 金庫印

金庫 印

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方會計規則

第四號樣式(用紙適宜 紙面ノ寸法 輪廓ハ果線 輪廓内ノ寸法ハ適宜)

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(部)	「何」	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部	款	項	「某」	「納」
一金					
明治「何」年「何」月「何」日					
符					

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(部)	「何」	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部	款	項	「某」	「納」
一金					
右領收候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
書證收領					

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(部)	「何」	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部	款	項	「某」	「納」
一金					
右領收候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
拂金現					

第五號樣式(用紙適宜 紙面ノ寸法 輪廓ハ果線 輪廓内ノ寸法適宜)

右領收候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
「何」金 庫					
收入官吏「官」氏 名「國」					

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(部)	「何」	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部	款	項	「某」	「納」
一金					
右領收候ニ付通知候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
「官職」(「職」)「官」氏 名「國」					
書知通濟收領					

第 號	「何」道主管	「取扱部」	「何」府(部)	「何」	「何」
「何」年度	歳入經常(臨時)部	款	項	「某」	「納」
一金					
右領收候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
收入官吏「官」氏 名「國」					
書證收領					

明治四十四年四月 勅令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則

第七號様式ノ甲

収入報告書 何年收

科目			摘要	測定済額	
款	項	目		本月分	前月迄計

右之通候也  
年 月 日

何 道 長

備考

- 一 會計規則第十六條ノ官吏、府尹、郡守又
- 二 不納賦税アリタルトキハ其ノ事由ヲ註
- 三 現金拂込未済ノモノアルトキハ其ノ事

符原命令出支常通

明 治 一 金  
年 年 日 發行

○取役主  
任印

第 號 何道主管 何年度 主 債

提出經常(臨時)部 款 項

明治四十四年四月 勅令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則

第六號様式

度歲入經常(臨時)部  
入 報 告 書  
年 月 分

収入済額		缺損額		収入未済額	現金拂込仕障
本月分	前月迄計	本月分	前月迄計		

(記入徴收官) 官 氏 名 固  
官 宛

ハ收入官吏ノ調製スヘキ收入報告書ハ此ノ様式ニ依ル  
要綱ニ記入スヘシ  
由ヲ摘要欄ニ詳記スヘシ

令命出支常通

第 號	「何」道主管	「何」年度	債
歳出經常(臨時)部	款	項	主
「何」	「何」	「何」	「何」
「何」	「何」	「何」	「何」

○取扱主  
任印

右金額此ノ支出命令持込人ニ仕拂フヘシ

明治「何」年「何」月「何」日

「何」金 庫

官職(發行者)「氏」名「姓」

○注意 裏面測覽スヘシ

發行 者印

内案令命出支常通

第 號	「何」道主管	「何」年度	債
歳出經常(臨時)部	款	項	主
「何」	「何」	「何」	「何」
「何」	「何」	「何」	「何」

○取扱主  
任印

右金額ニ對スル支出命令ヲ發行ス

明治「何」年「何」月「何」日

「何」金 庫

官職(發行者)「氏」名「姓」

備考 支出命令裏面ニ左ノ注意文ヲ記載スヘシ

(支出命令裏面)

領收證

表肥ノ金額正ニ領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

「住所」

受取人「氏」名「姓」

注意  
一 支出命令ハ發行ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ當該金庫ニ就キ現金ト引換フヘシ若シ其ノ期限ヲ經過シタルトキハ支出命令ノ再交付ヲ請求スヘシ  
二 受取人金庫ヨリ現金ヲ受領シタルトキハ領收證欄内ニ年月日住所ヲ記入シ署名捺印スヘシ

第七號様式ノ乙

符原令命出支合集

第 號	「何」道主管	「何」年度	債
歳出經常(臨時)部	款	項	主
「何」	「何」	「何」	「何」
「何」	「何」	「何」	「何」

○取扱主  
任印

一金

明治「何」年「何」月「何」日

合集

第 號	「何」道主管	「何」年度	債
歳出經常(臨時)部	款	項	主
「何」	「何」	「何」	「何」
「何」	「何」	「何」	「何」



令命出支

一金 ○取扱主  
右金額此ノ支出命令付屬ノ金額氏名表ニ對照シ支拂フヘシ  
明治「何」年「何」月「何」日 「官職」發行者「氏」名「姓」

第	號	「何」道主管	「何」年度	仕務	「何」金庫
送	出	款	項	金庫名	

集合支出命令第 號  
一金 ○取扱主

右金額ニ對シ集合支出命令本日發行セシニ依リ前記金庫ニ就キ現金ヲ領收スヘシ  
明治「何」年「何」月「何」日 「官職」發行者「氏」名「姓」

領收證  
前記金額領收候也  
受取人「住所」  
明治「何」年「何」月「何」日 「氏」名「姓」

(通知書裏面)

注意  
一受取人金庫ヨリ現金ヲ受領シタルトキハ領收證書欄内ニ年月日住所ヲ記筆シ署名捺印スヘシ

第七號様式ノ丙

送金出支命令原符

「何」年度	集合支出命令第	號金額氏名表
一金「何」程	送金出支(臨時)部	債主「何」某外何名「姓」
内	債主	
金額	番號	債主名
		住所
明治「何」年「何」月「何」日		
	「官職」發行者「氏」名「姓」	

第	號	「何」道主管	「何」年度	債主	「住」所
送	出	款	項	主	「何」某「姓」

送金

第	號	「何」道主管	「何」年度	債主	「住」所
送	出	款	項	主	「何」某「姓」

發行 者印

通知書

一金  
右金額「何」金額ニ對シ送金支出命令ヲ發行ス  
明治「何」年「何」月「何」日  
「官廳」(發行者)「氏」 名「印」

送金支出命令

第一 號 「何」道主管 「何」年度 債主 「住」所 「何」 某「渡」  
 發出經營(臨時)部 款 項 主  
 一金  
 右金額領主ニ送金仕拂フヘシ  
 明治「何」年「何」月「何」日  
 「何」金額  
 「官廳」(發行者)「氏」 名「印」

領收證書

第一 號 「何」道主管 「何」年度 債主 「住」所 「何」 某「渡」  
 發出經營(臨時)部 款 項 主  
 一金  
 右領收帳也  
 明治「何」年「何」月「何」日  
 「何」金額  
 債主「氏」 名「印」

送金報告書

第一 號 「何」道主管 「何」年度 債主 「住」所 「何」 某「渡」  
 發出經營(臨時)部 款 項 主  
 一金  
 右送金済ニ付報告候也  
 明治「何」年「何」月「何」日  
 「官廳」(發行者)「氏」 名「印」  
 「何」金額

(領收證書裏面)

注意

一 受取人ニ於テ現金又ハ郵便爲替ヲ受領シタルトキハ表面領收證書欄内受領年月日ヲ記入シ署名捺印ノ上當該金額ニ送付スヘシ

備考

一 送金支出命令及領收證書送金済通知書ハ接続ノ儘金額ニ交付シ送金通知書ハ債主ニ送付スヘシ

計	科目	支出額		戻入及更正類			計	差引帳 算殘額
		前月迄 累計	本月分	戻入	更 正			
					増	減		
65,000	何何(款) 何何(項) 何何(目)	20,000	10,000				30,000	35,000
35,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	10,000	1,000				11,000	24,000
60,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)		4,000				4,000	56,000
50,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	30,000	15,000				45,000	5,000
15,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	5,000	1,000	5,000			1,000	14,000
40,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	20,000	5,000				25,000	15,000
20,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	2,000	1,000		2,000		5,000	15,000
10,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	5,000	1,000			2,000	4,000	6,000
40,000	何何(目) 何何(款) 何何(項)	30,000	1,000				31,000	9,000
335,000	合 計	122,000	39,000	6,000	2,000	2,000	156,000	179,000

	<p>明治何年度</p> <p>明治何年何月分</p> <p>歳出經常(臨時)部</p> <p>支出計算書</p>
<p>備考</p> <p>何何ノ爲メ何何ヨリ五圓流用 何年何月何日報告</p> <p>何年何月何日指令第何號ヲ以 テ何何コリ十圓流用認許</p> <p>何何ノタメ何某ヨリ五圓返納 本月分内 圖ハ何某渡科目途 段見ニ付何何ニ更正ヲ要スル分</p> <p>何月分内二圖ハ何某渡ハ科目 誤認ニ付何何ニ更正ノ爲メ増</p> <p>本月分内五圓ハ何何ノタメ何 何某ニ概算渡ノ分</p>	<p>證憑書 冊</p> <p>(取 扱 廳 名)</p>

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則

第九號樣式ノ一

### 現金出納計算書

摘要	領收高		拂出高		現保管高		備考
	日	額	日	額	日	額	
計							

書面ノ通引證ツテ候也  
 明治何年何月何日  
 前任出納官吏 官 氏 名 印  
 後任出納官吏 官 氏 名 印

明治何年何月何日 何年何月何日 何年何月何日 何年何月何日 何年何月何日

明治何年度何年何月分支出計算書證明候也

### 官職氏名 宛

道長官宛

年月日

備考	豫算額	増	減
	日	額	日
	60,000	5,000	
	50,000		5,000
	40,000	10,000	
	50,000		
	25,000		10,000
	40,000		
	20,000		
	10,000		
	40,000		
	835,000	15,000	15,000

備考

- 一 計算書ハ經常ト臨時トニ區分シ調整スヘシ
- 一 歳入歳出外現金及特別會計ニ屬スル支出證明ハ此ノ様式ニ準シ調整スヘシ
- 一 計算書用紙ハ筆沙引厚質美濃紙ニシテ折トス
- 一 計算書ハ改換捺印ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ更正ツベシトキハ二線ヲ横道ニ取扱主任其ノ他ノ職員之ニ捺印スヘシ

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則





明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則

第十二號樣式

拂及前渡金整理簿

(時)部 款 項 目

支 出 額	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額

トニ區別シ日毎ニ口座ヲ設ケルモノトス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十八號 地方費會計規則

支 出 總 括

(何何)款 歲出經常(臨時)部

年 月 日	備 考	豫 算 額	支 出 命 令 額	豫 算 殘 額	年 月 日

備考 本簿ハ每年度調製シ日毎ニ口座ヲ設ケ毎款總括ノ口座ヲ設ケルモノトス





第十條 物品會計官吏ハ道長官ノ命シタル代理者ノ行爲ニ付テハ其ノ責ニ任セス  
 第十一條 本令ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ道長官ハ朝鮮總督ノ認可ヲ經テ特別ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第十二條 物品ノ取扱ニ關スル規程ハ道長官之ヲ定メ朝鮮總督ニ報告スヘシ  
 第十三條 物品出納簿並出納計算書ノ様式ハ別紙第一號乃至第三號ニ依ル

附則  
 本令ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス  
 第一號様式

計	現在			拂出先及 受入先名	備考
	供用	在庫	計		

備品出納簿											
(品目)											
摘要	單位	受入量					拂出量				備考
		越	買入	保管轉換	其他	計	心失及損	賣却	保管轉換	其他	

備考  
 一 備品出納簿ハ毎年度繰返使用スヘシ  
 一 物品ハ一品目毎ニ口座ヲ設ケヘシ  
 一 毎年度間ニ執行シタル受納ヲ計算シ其年度末ニ於テ現在残高ヲ示スヘシ  
 一 出納ノ詳細ヲ明ニスル爲メスル補助簿ハ適當之ヲ設ケルモノトス

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十九號 地方支那物品會計規則

消 耗 品 出							
(品 目)							
年 月 日	備 考	單 價	受 入				計
			越 高	買 入	保 守 費	其 他	

備 考  
 一本簿ハ年度毎ニ調製シ品目毎ニ口座ヲ設ケルモノトス  
 一出納ノ詳細ヲ明ニスル爲メス補助簿ハ適宜之ヲ設ケルモノトス

第二號樣式

納 簿						
排 出 數	備 考	現 在	備	老	年 月 日	
					月	日
消 耗	賣 却	保 守 費	其 他	計		

明治四十四年四月 訓令 朝鮮總督府第二十九號 地方支那物品會計規則

第三號様式

何年度

自何年何月至何年何月

物品出納計算書

一、物品出納計算書  
一、消耗品ニ付テハ取出ノ欄ニ矢毀損ヲ消耗トシ  
現在ノ欄ヲ殘高トスヘシ

証憑書冊

題名

備考	現在			出量				
	計	在庫	供用	計	其他	管理	賣却	損失

右何年度(又ハ何年度自何年何月何日至何年何月何日)物品出納證明候也

何道物品會計官吏 官 氏 名 國

(又ハ前任物品會計官吏 官 氏 名 國  
後任物品會計官吏 官 氏 名 國)

何道長官宛

年 月 日

(備品)又ハ(消耗品)

品 目	單 位 ノ 稱 呼	受 入				計
		越	買入	仕入	其他	